

第3章 県の特定期間について

1 県の広報活動について

(1) 県が発信する情報の取得方法

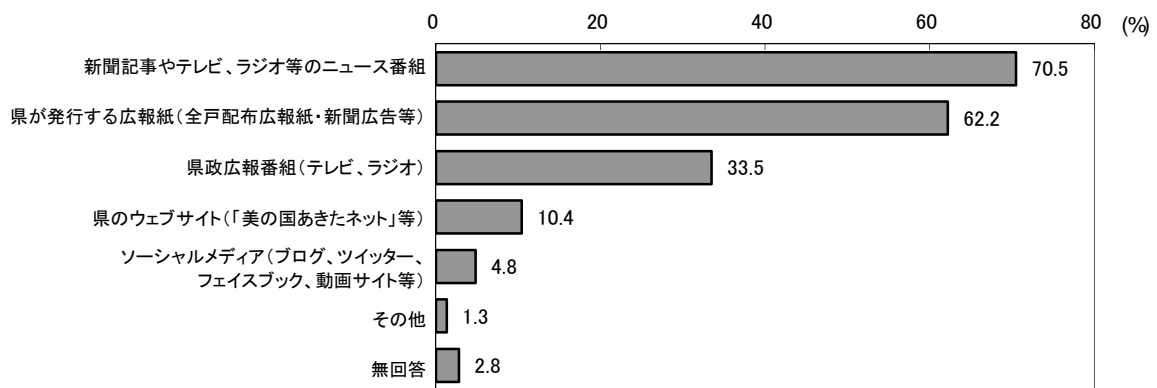
◆あなたは県の施策・事業等を何から知ることが多いですか。(複数選択可)(質問3-1-1)

全体では、「新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組」の70.5%が最も高く、次いで「県が発行する広報紙(全戸配布広報紙・新聞広告等)」の62.2%、「県政広報番組(テレビ、ラジオ)」の33.5%と続いている。「県のウェブサイト(「美の国あきたネット」等)」は10.4%、ソーシャルメディア(ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画サイト等)は4.8%である。

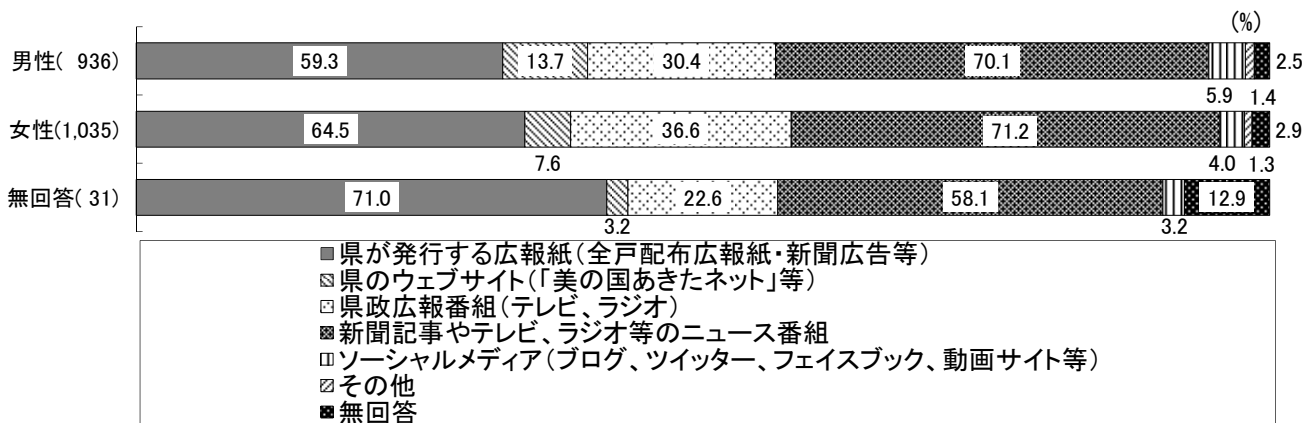
性別では「県が発行する広報紙」と「県政広報番組」は女性の方が高く、「県のウェブサイト」は男性の方が高い。

年代別では、10歳代と20歳代で「ソーシャルメディア」の割合が他の年代と比べ高くなっており、年代が高くなるほど「県が発行する広報紙」と「県政広報番組」の割合が高くなる傾向にある。

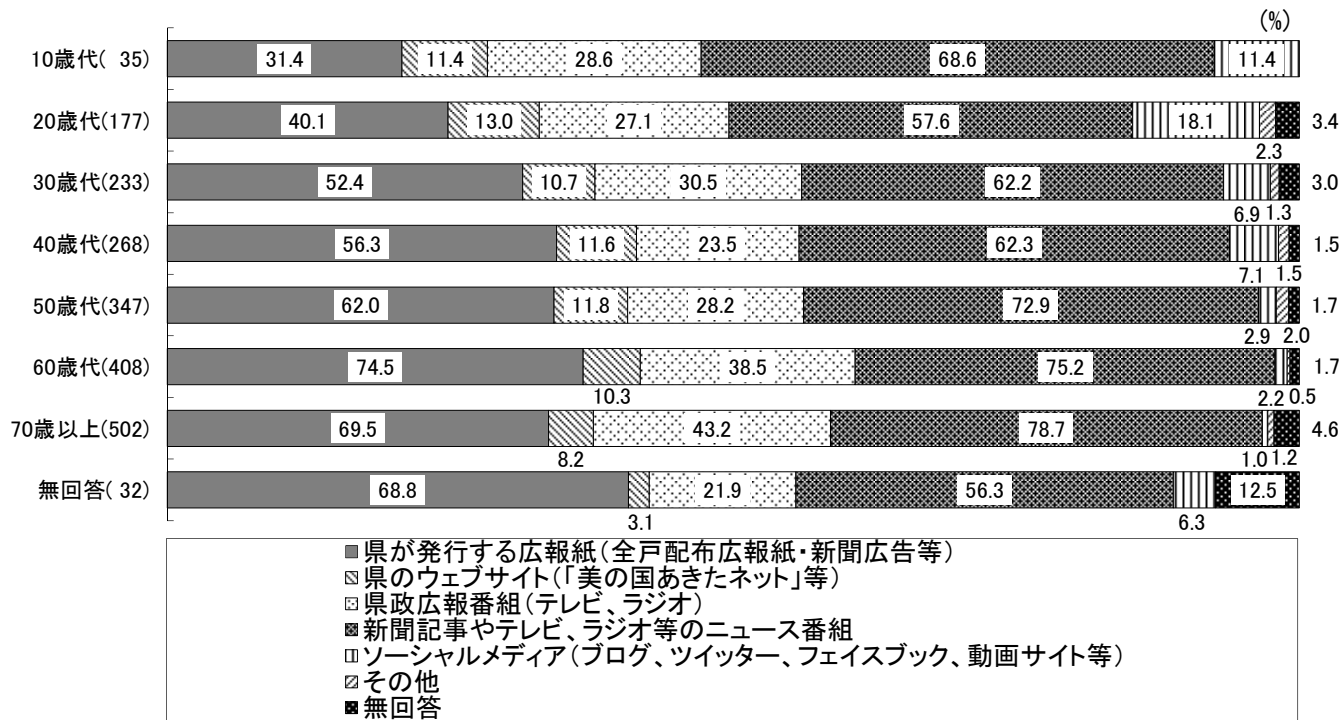
【全体】



【性別】



【年代別】



(2) 広報活動の現状評価

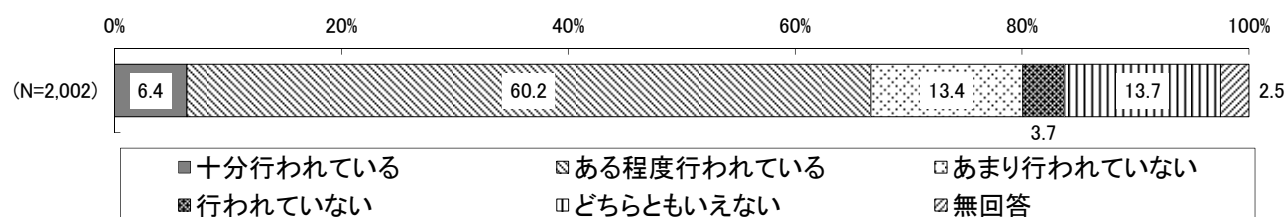
◆あなたは広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか。
(質問3-1-2)

全体では、「十分行われている」が6.4%、「ある程度行われている」が60.2%となっており、6割強の人が広報活動は概ね行われていると評価している。

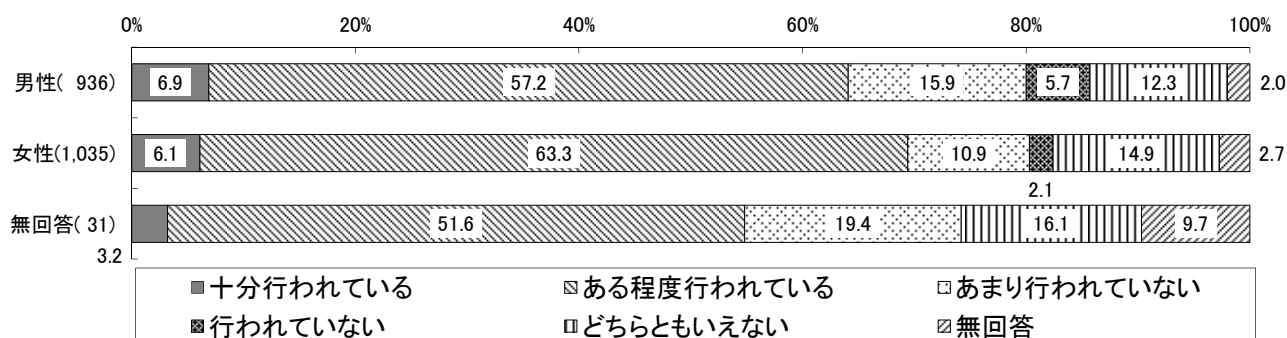
性別では、男性で「十分行われている」が6.9%、「ある程度行われている」が57.2%、女性で「十分行われている」が6.1%、「ある程度行われている」が63.3%となっており、男性に比べ女性が高くなっている。

年代別では、各年代とも肯定的評価の合計が6割を超えており、広報活動は概ね行われていると評価している。

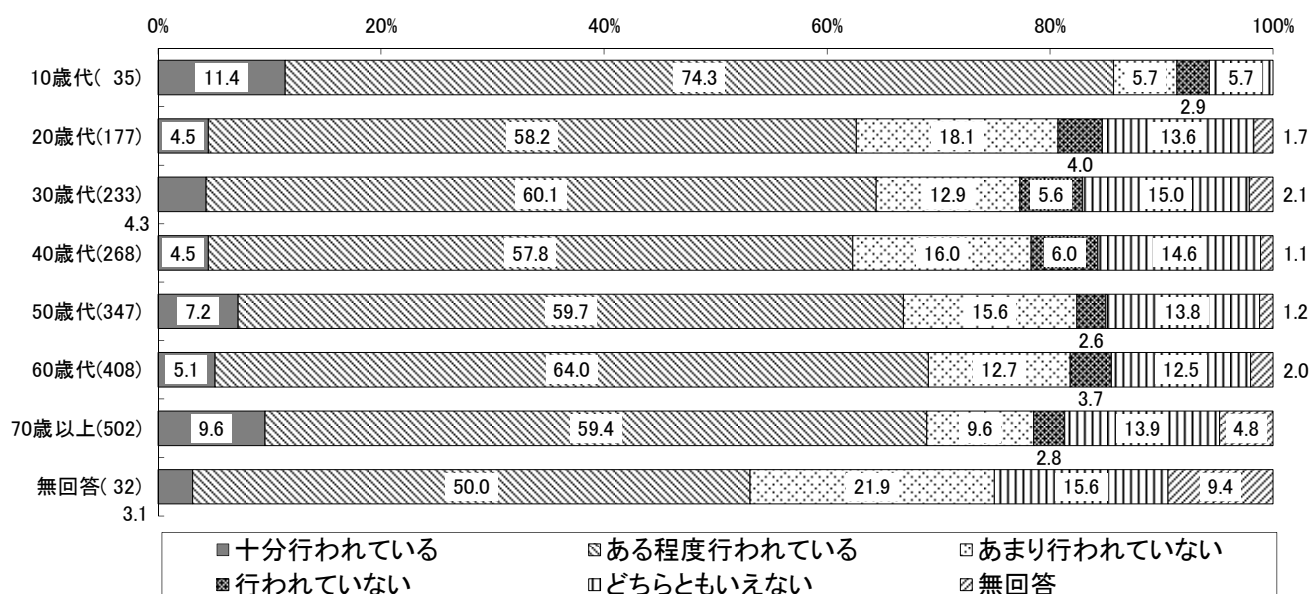
【全体】



【性別】



【年代別】



2 県の記念日について

(1) 県の記念日の認知度

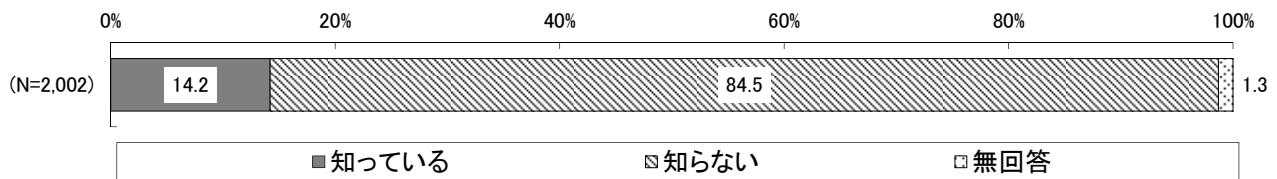
◆あなたは、「県の記念日（8月29日）」を知っていますか。（質問3-2）

全体では、「知っている」が14.2%で、「知らない」が84.5%となっている。

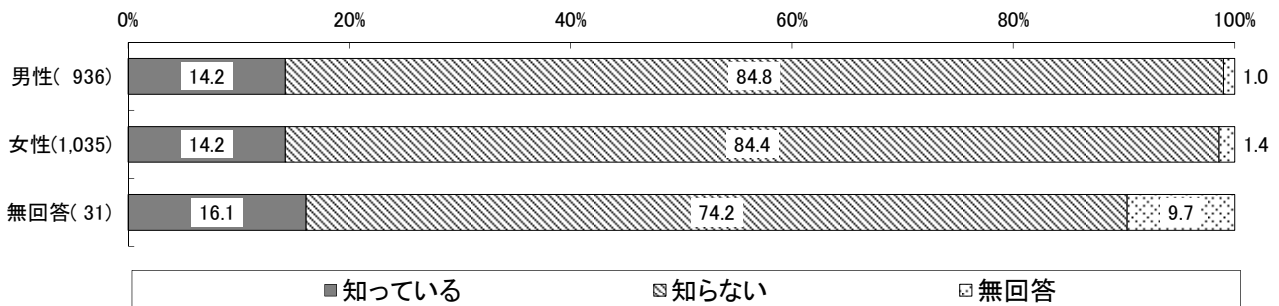
性別では大きな違いは見られない。

年代別では、70歳以上で「知っている」が25.7%と最も高いが、20歳代～40歳代では10%を切っており、認知度は非常に低い。

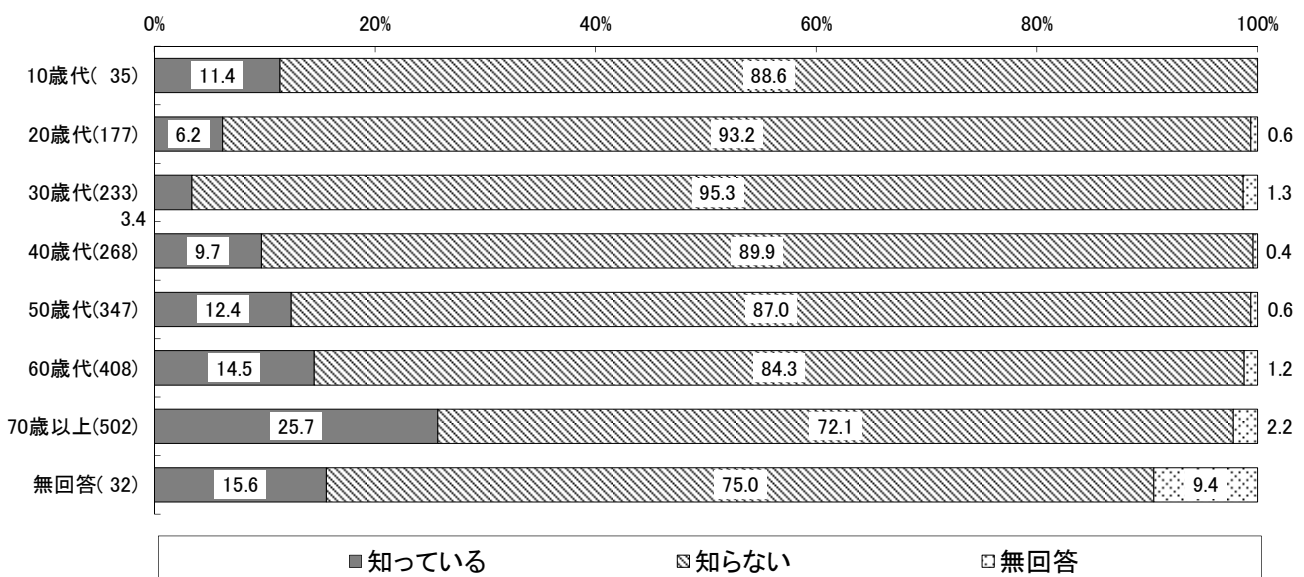
【全体】



【性別】



【年代別】



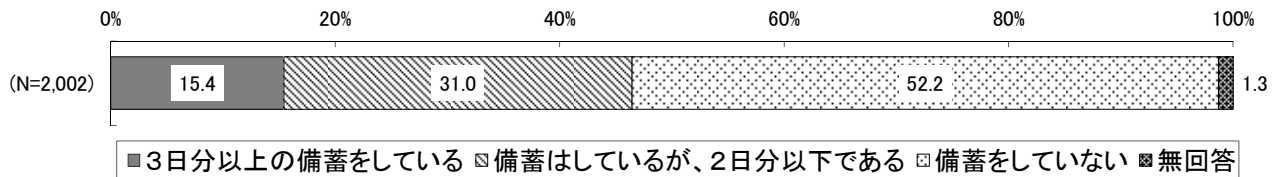
3 家庭での防災活動について

(1) 家庭での災害時の備蓄状況

◆あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（家族人数×3日分）をしていますか。
（質問3-3-1）

全体では、「備蓄をしていない」が52.2%と半数を超えている。「備蓄はしているが、2日分以下である」が31.0%、「3日以上以上の備蓄をしている」が15.4%となっている。

【全体】



(2) 災害に備えた防災活動

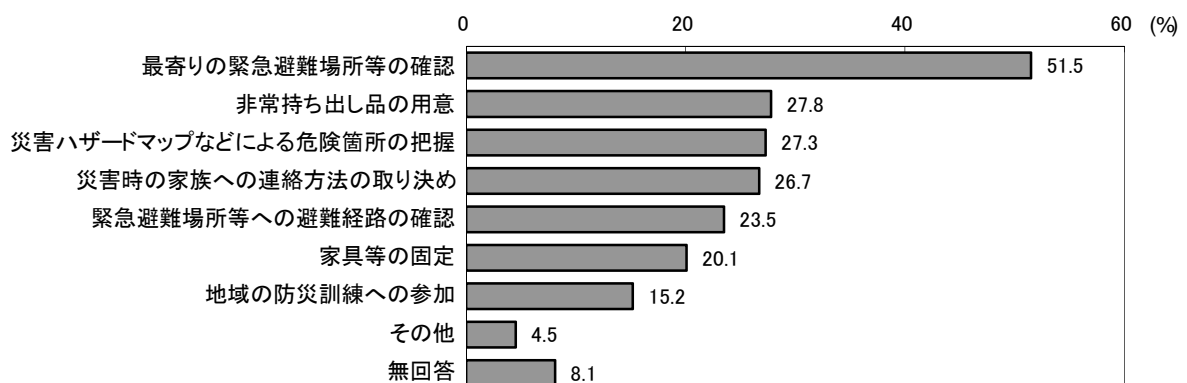
◆あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか。（複数選択可）（質問3-3-2）

全体では、「最寄りの緊急避難場所等の確認」の51.5%が最も多く、次いで「非常持ち出し品の用意」の27.8%、「災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握」の27.3%「災害時の家族への連絡方法の取り決め」の26.7%と続いている。

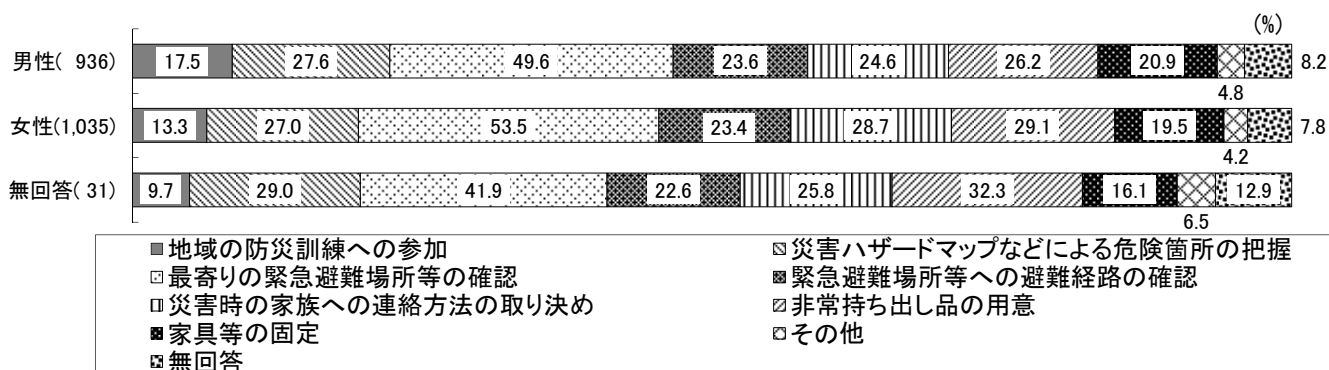
性別では、男性で「地域の防災訓練への参加」が比較的高く、女性で「最寄りの緊急避難場所等の確認」と「非常持ち出し品の用意」が比較的高くなっている。

年代別では、「地域の防災訓練への参加」は20歳代で8.5%、30歳代で7.3%と特に低くなっている。70歳代以上は、「非常持ち出し品の用意」の39.0%など、多くの項目で全体より高くなっている。

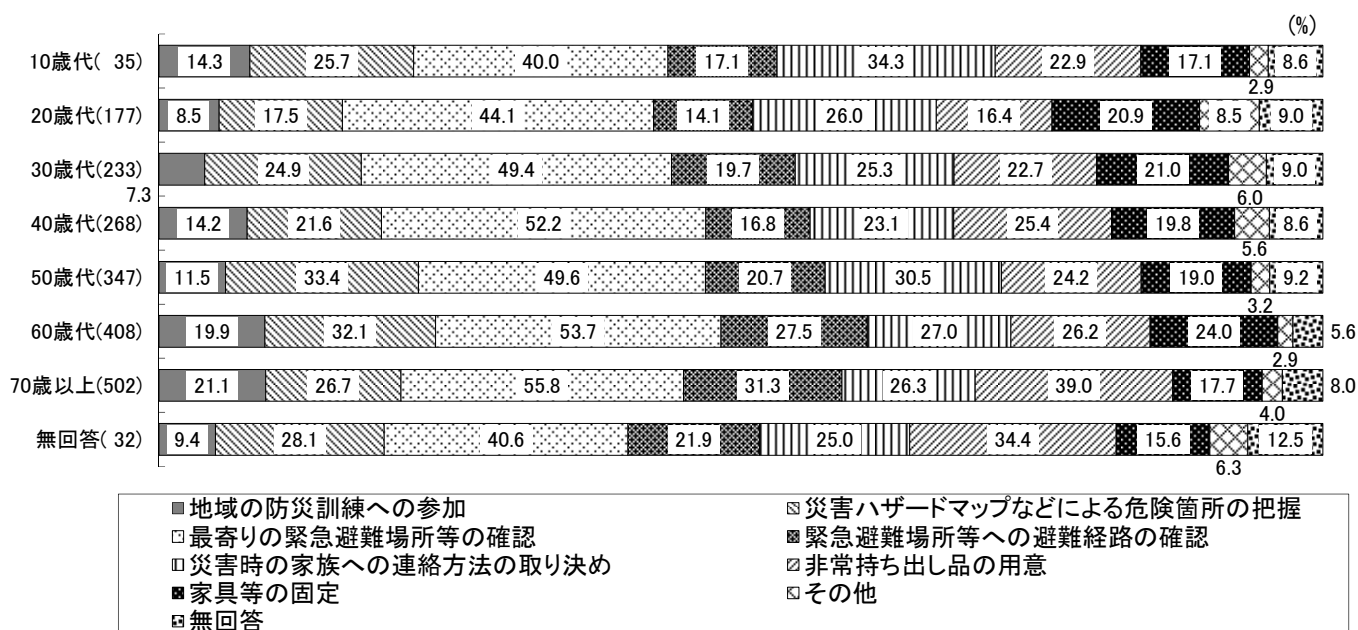
【全体】



【性別】



【年代別】



4 読書活動について

(1) 読書への興味

◆あなたは本を読むのが好きですか。(質問3-4-1)

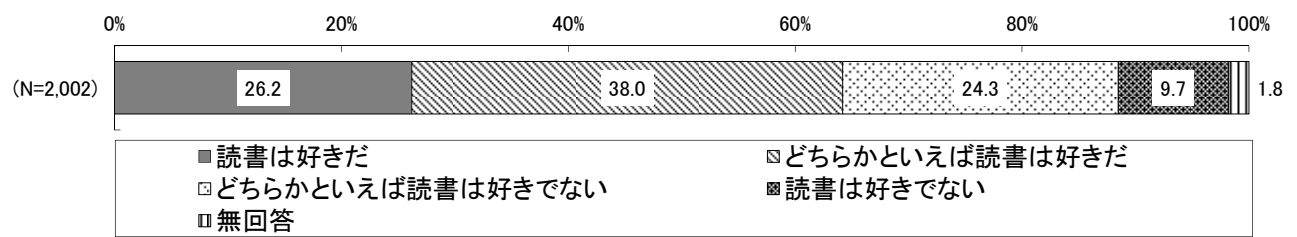
全体では、「読書は好きだ」の回答は26.2%で、「どちらかといえば読書は好きだ」の38.0%と合わせると好きと感じている人の割合は6割を超えている。「読書は好きではない」は9.7%、「どちらかといえば読書は好きではない」が24.3%となっている。

性別では、「読書は好きだ」、「どちらかといえば読書は好きだ」とする割合は女性の方が約6%高くなっている。

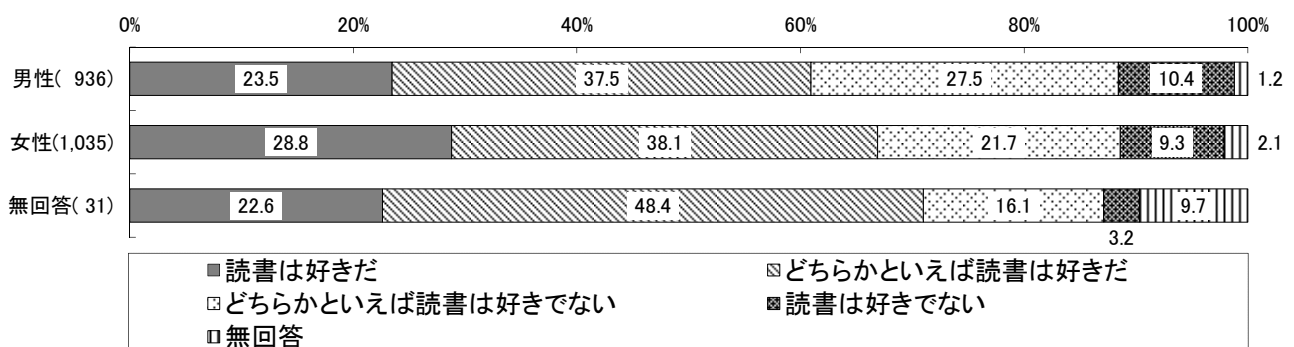
年代別では、「読書は好きだ」、「どちらかといえば読書は好きだ」とする割合は20歳代が69.5%と最も高く、30歳代が67.4%でそれに続いている。最も低いのは60歳代の61.3%となっている。

地域別では、「読書が好きだ」、「どちらかといえば読書は好きだ」とする割合が最も高かったのは秋田地域と仙北地域で、ともに68%台であった。由利地域の67.7%が続いている。一方、最も低かったのは北秋田地域の51.2%で、山本地域では59.7%、雄勝地域では59.9%となっている。

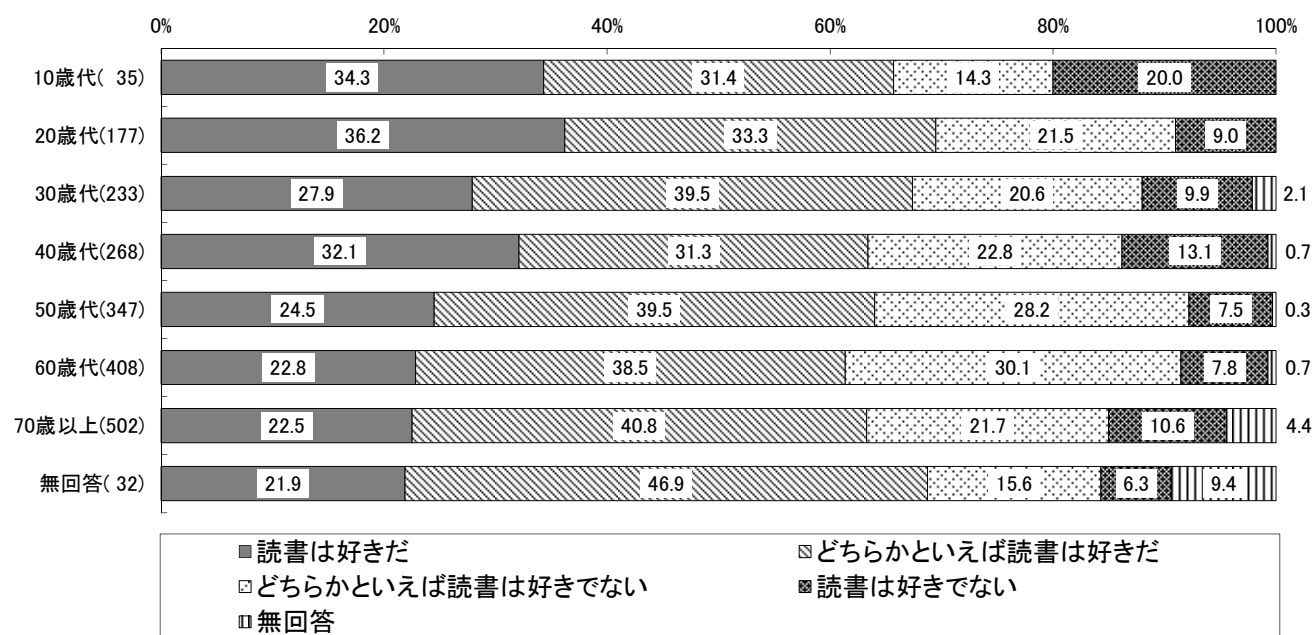
【全 体】



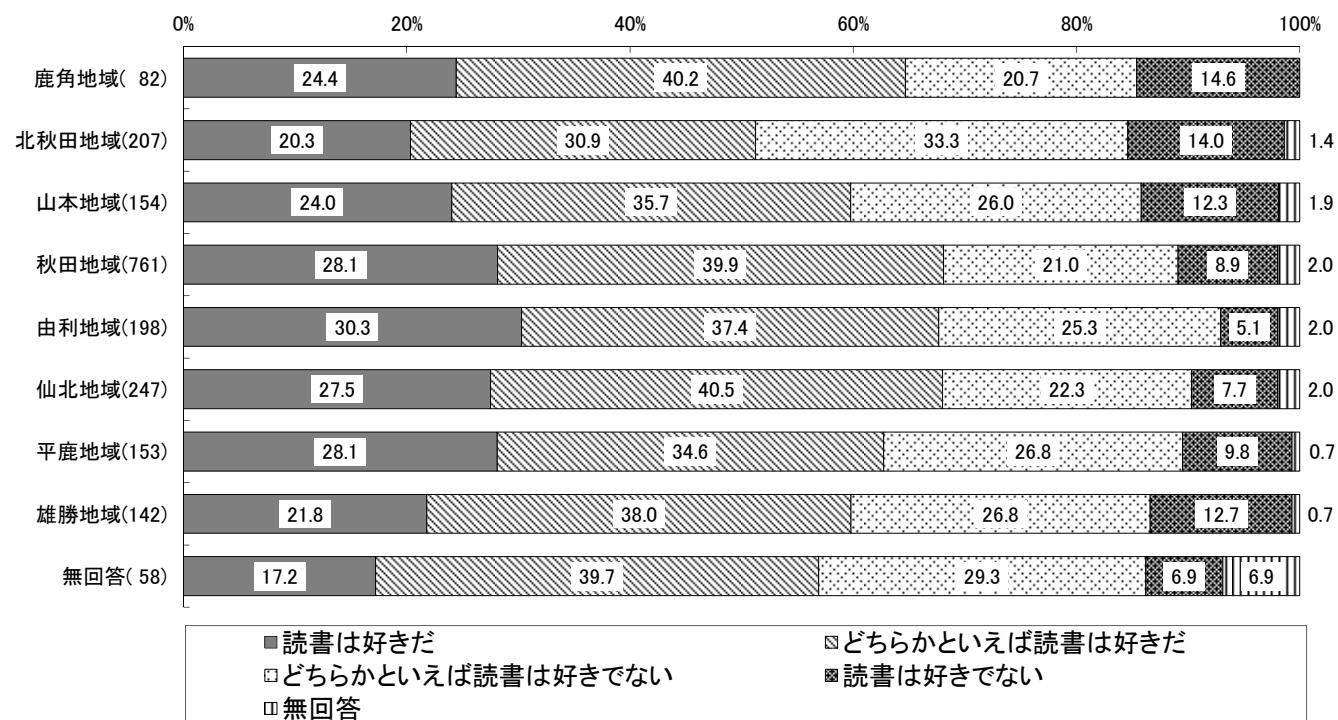
【性 別】



【年代別】



【地域別】



(2) 読書時間確保の有無

◆あなたは1日30分以上（または1週間で3時間程度）読書する時間を確保できていますか。

(質問3-4-2)

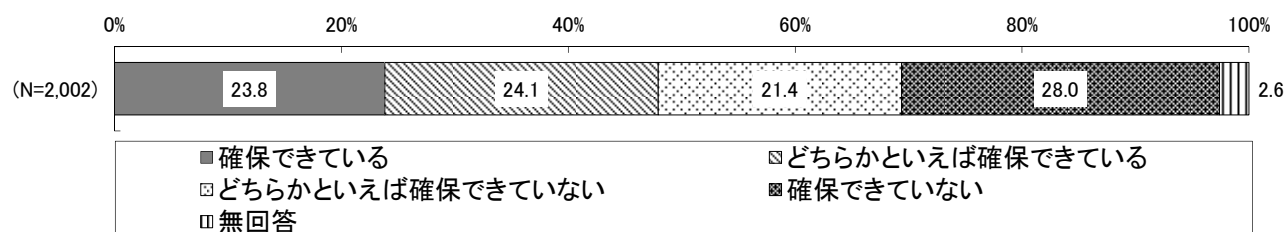
全体では、「確保できている」の23.8%、「どちらかといえば確保できている」の24.1%に対し、「確保できていない」が28.0%、「どちらかといえば確保できていない」が21.4%となっており、僅かながら確保できていない人の割合が高くなっている。

前年度の調査では、女性が男性よりも4%程度低い傾向が見られたが、今年度の調査では性別による差はほとんど見られない。

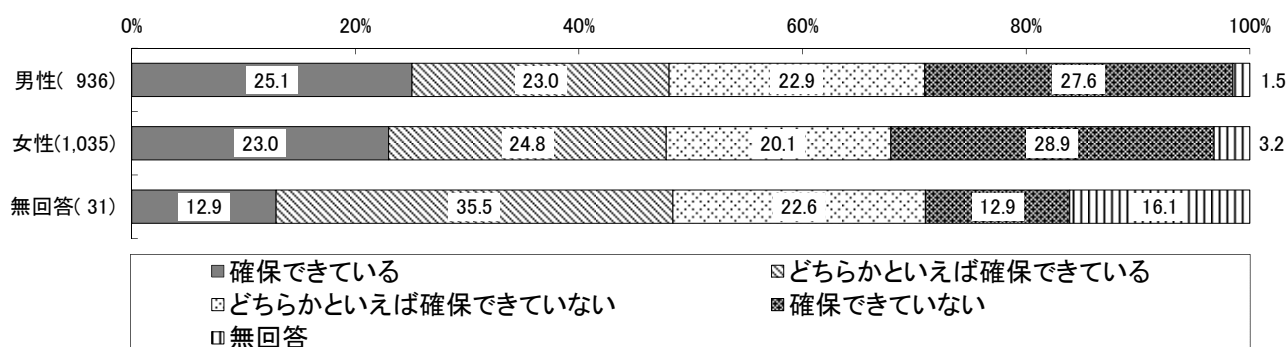
年代別では、「確保できている」、「どちらかといえば確保できている」とする人は70歳以上で60.6%と最も高く、40歳代が32.5%、30歳代が35.2%と低くなっており、50歳代、60歳代と進むに従って高くなっている。

地域別では、「確保できている」、「どちらかといえば確保できている」を合わせた割合は由利地域で50.5%と最も高く、次いで秋田地域の50.1%、雄勝地域の50.0%と続いている。一方、「確保できていない」割合は北秋田地域で38.6%、鹿角地域で34.1%と高い傾向にある。

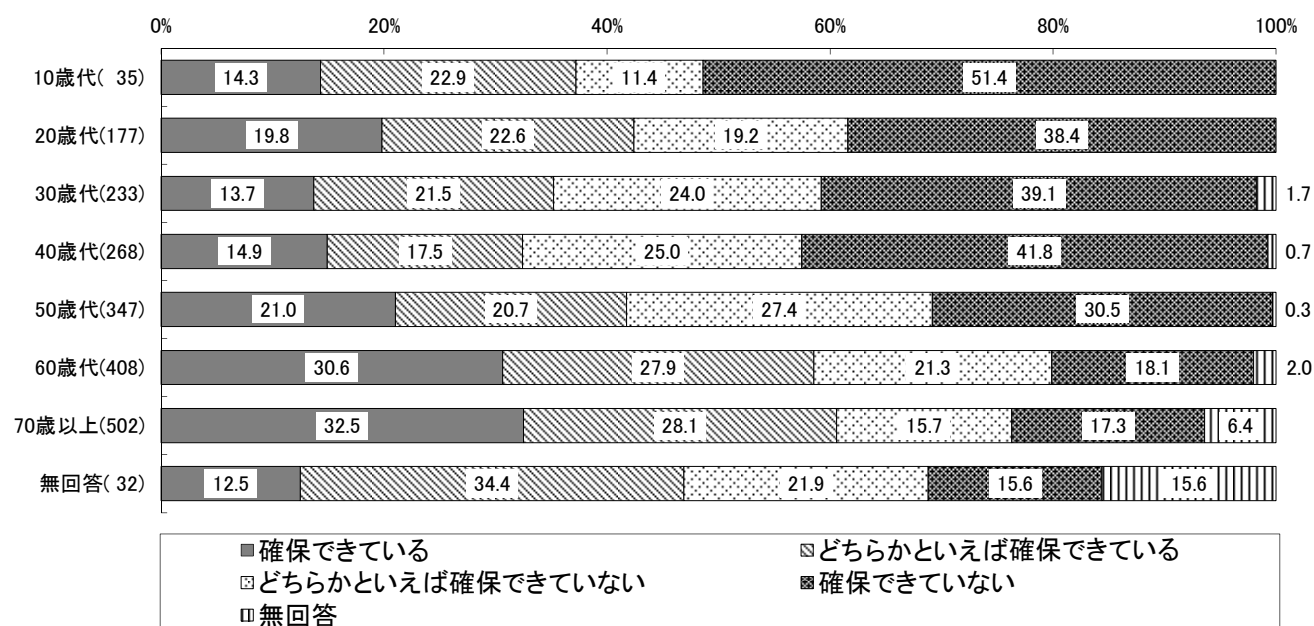
【全 体】



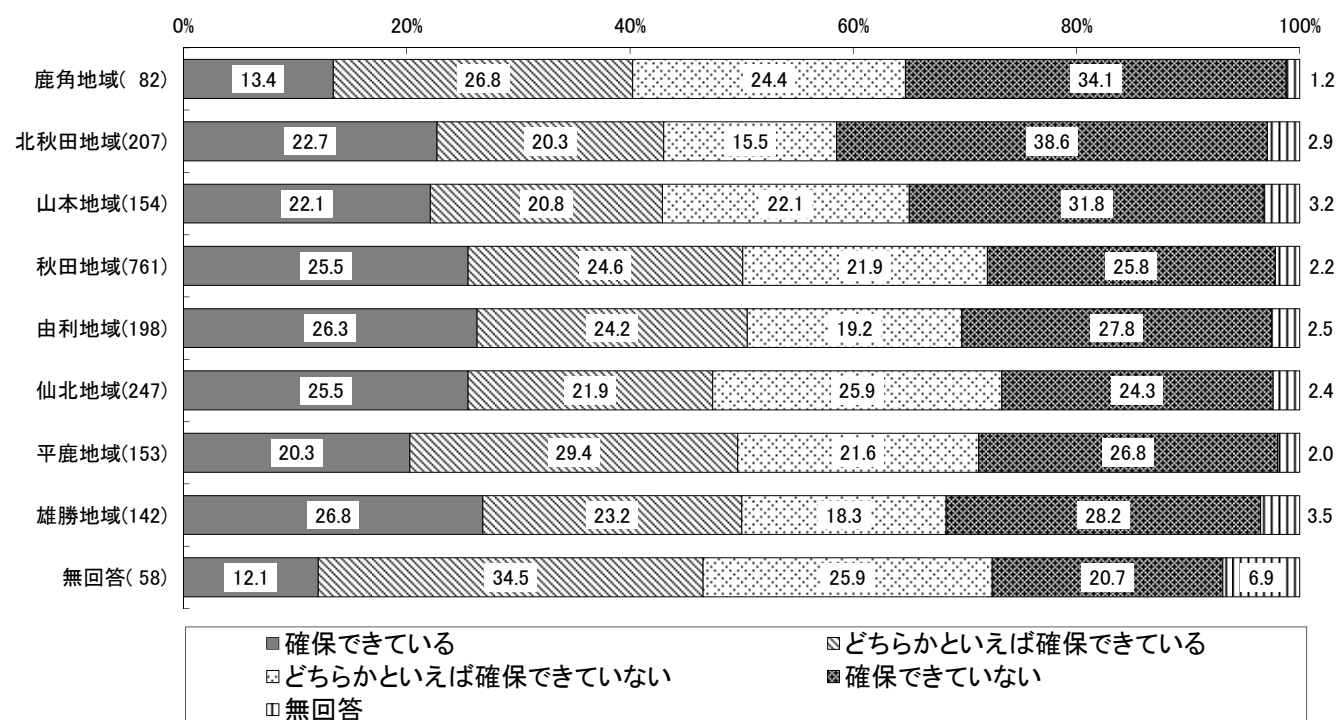
【性 別】



【年代別】



【地域別】



(3) 読んでいる本の種類

- ◆ (質問3-4-2で「確保できている」または「どちらかといえば確保できている」と回答した人)
 あなたが読んでいるのは主にどんな本ですか。(3つまで選択可)(質問3-4-3)

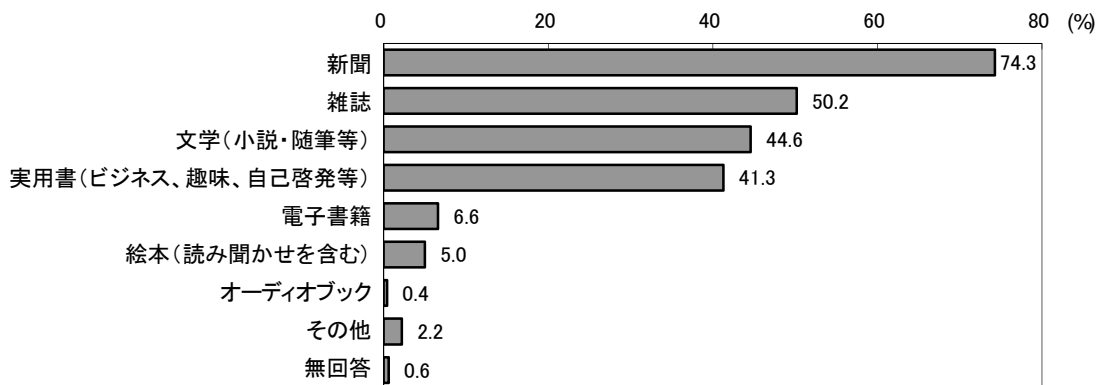
全体では、「新聞」が74.3%で最も高く、以降、「雑誌」の50.2%、「文学(小説・随筆等)」の44.6%、「実用書(ビジネス、趣味、自己啓発等)」の41.3%と続いている。

性別では、「新聞」がいずれも最多であるものの、女性は「雑誌」、「文学」が高く、男性は「雑誌」、「実用書」が高くなっている。

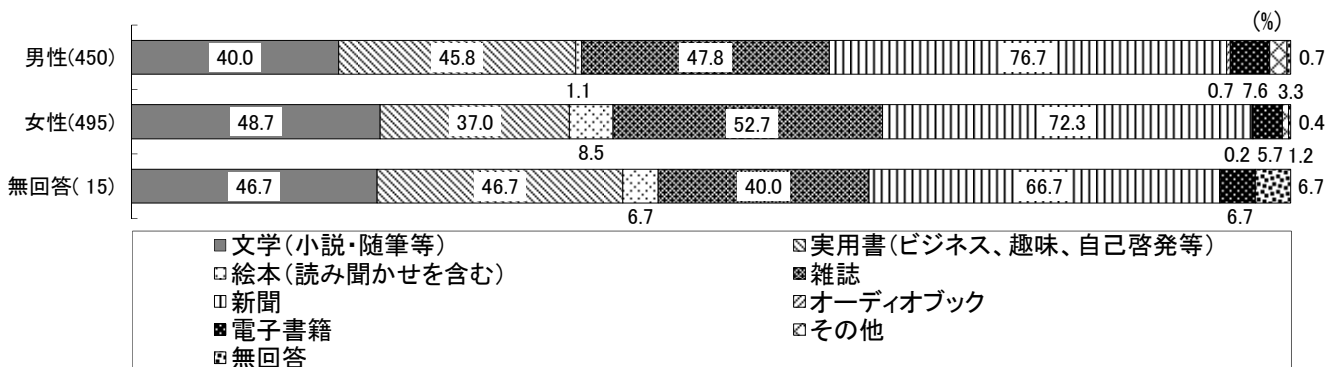
年代別では、50歳代以降は「新聞」の率が高く、70歳以上では92.1%となっている。10歳代~40歳代では「文学」の割合も高くなっている。また、「絵本(読み聞かせを含む)」は30歳代の20.7%を頂点として、20歳代~50歳代が高くなっている。

地域別では、「文学」は秋田地域で49.1%、由利地域で49.0%とやや高く、「実用書」は鹿角地域で48.5%、雄勝地域で47.9%とやや高くなっている。「絵本(読み聞かせを含む)」は由利地域、平鹿地域で他の地域と比べて高くなっている。

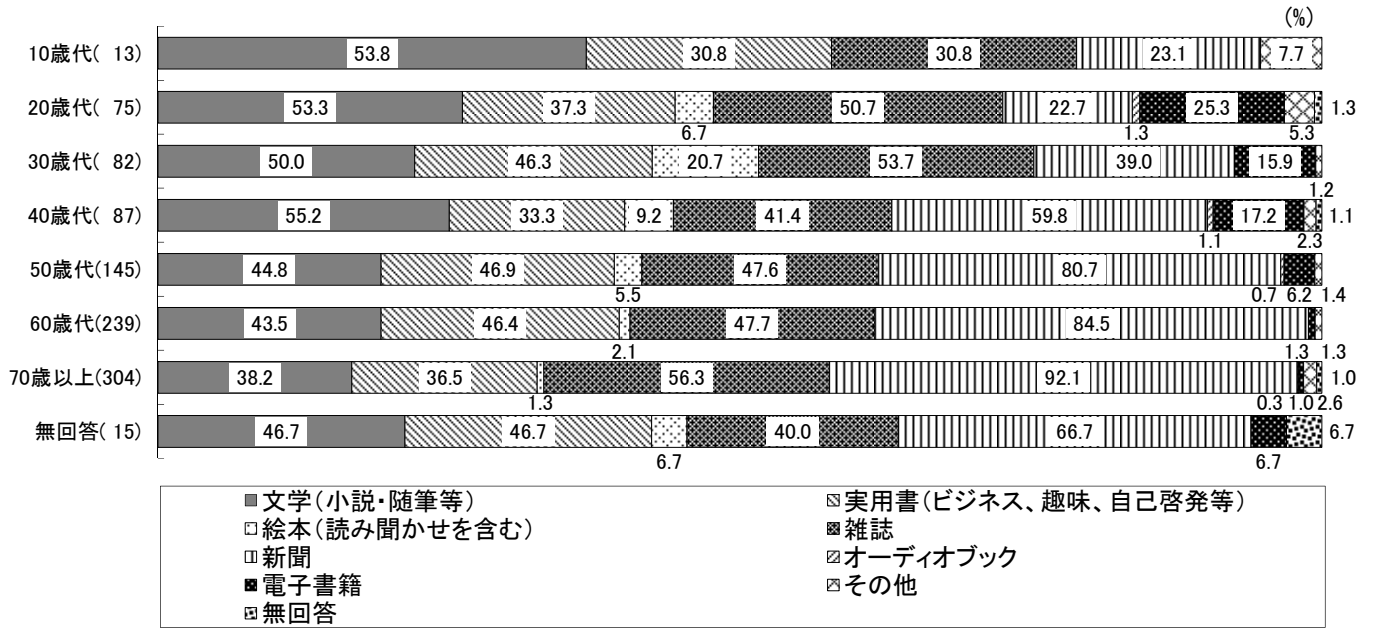
【全体】



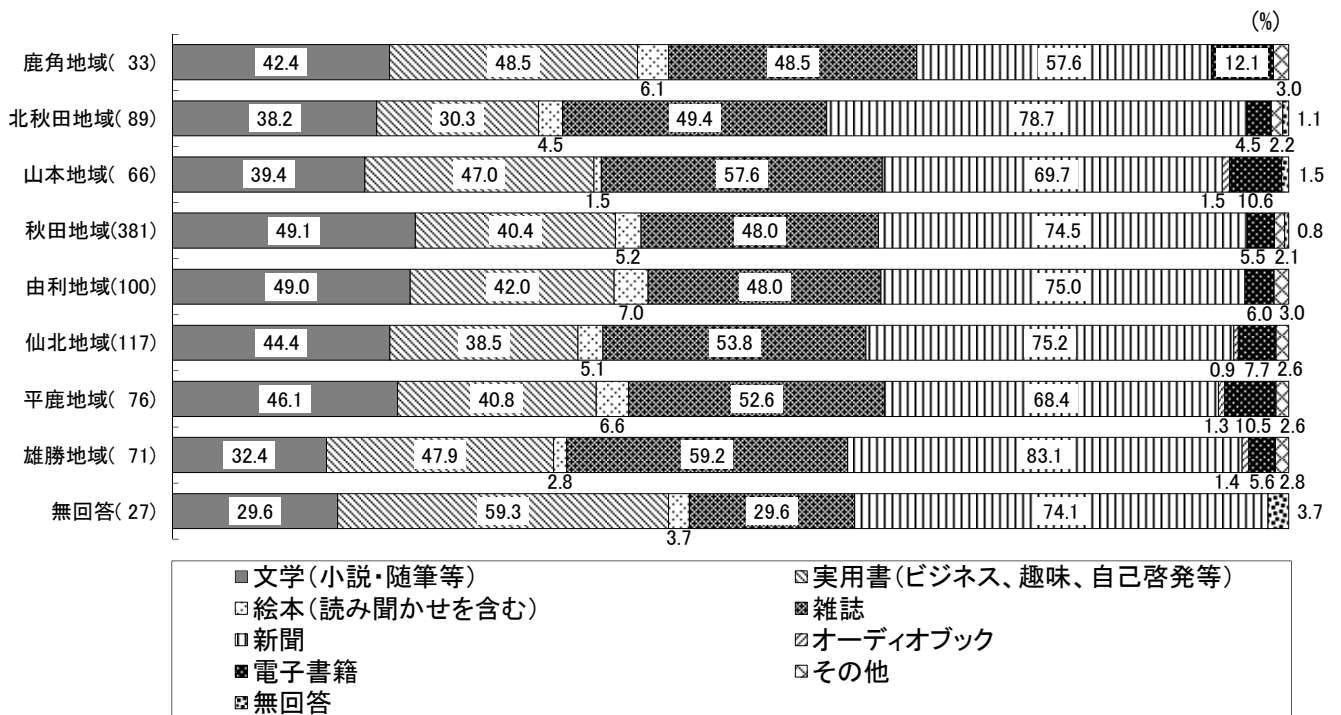
【性別】



【年代別】



【地域別】



(4) 読書時間が確保できない理由

◆ (質問3-4-2で、「どちらかというとな確保できていない」または「確保できていない」と回答した人)
読書時間が確保できない理由は何ですか。(2つまで選択可)(質問3-4-4)

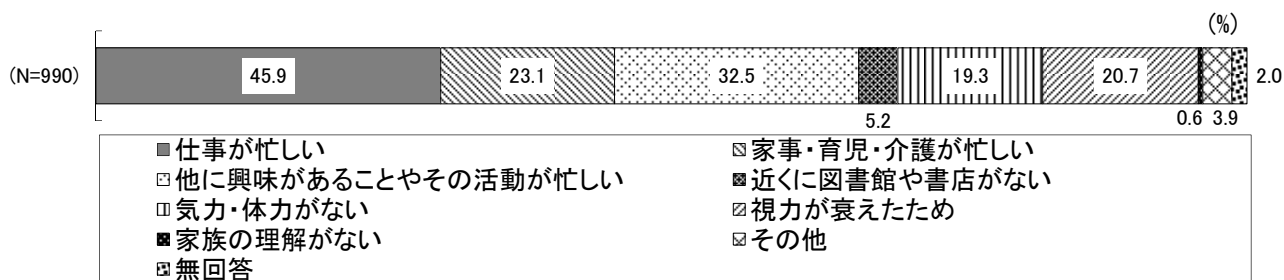
全体では、「仕事が忙しい」が45.9%と高く、次いで、「他に興味があることやその活動が忙しい」が32.5%、「家事・育児・介護が忙しい」が23.1%、「視力が衰えたため」が20.7%、「気力・体力がない」が19.3%、「近くに図書館や書店がない」は5.2%となっている。

性別では、女性は「仕事が忙しい」の次に「家事・育児・介護が忙しい」が33.1%と比較的高く、男性では「仕事が忙しい」の次に「他に興味のあることやその活動が忙しい」が高くなっている。

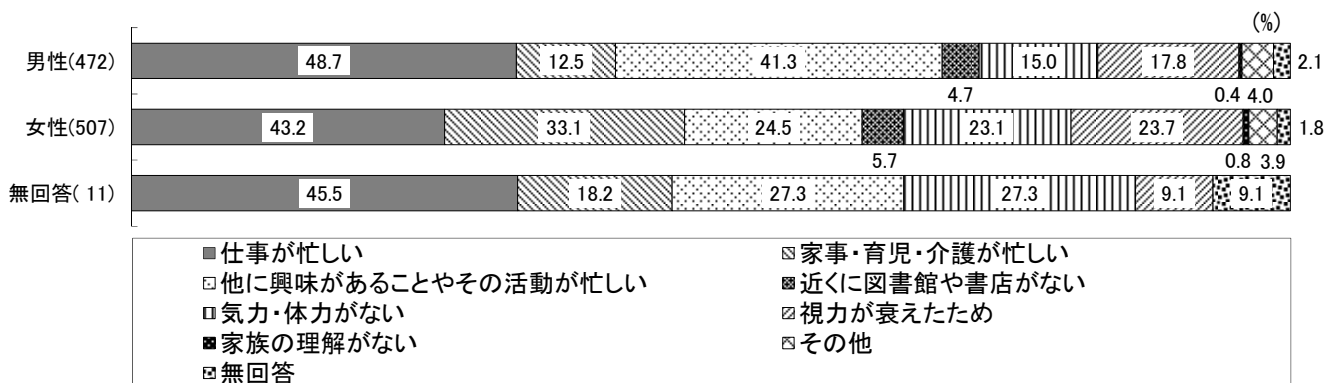
年代別では、10歳代は「他に興味のあることやその活動が忙しい」が77.3%で最も高く、20歳代は「仕事が忙しい」が60.8%で最も高くなっている。「視力が衰えたため」は60歳代で41.0%、70歳以上で49.4%となっている。

地域別では、「仕事が忙しい」がどの地域でも高くなっているが、「家事・育児・介護が忙しい」は、鹿角地域で29.2%、由利地域で29.0%、仙北地域で28.2%と他の地域に比べ高くなっている。北秋田地域では「視力が衰えたため」が27.7%と他の地域に比べ高くなっている。「近くに図書館や書店がない」は地域による差はほとんど見られない。

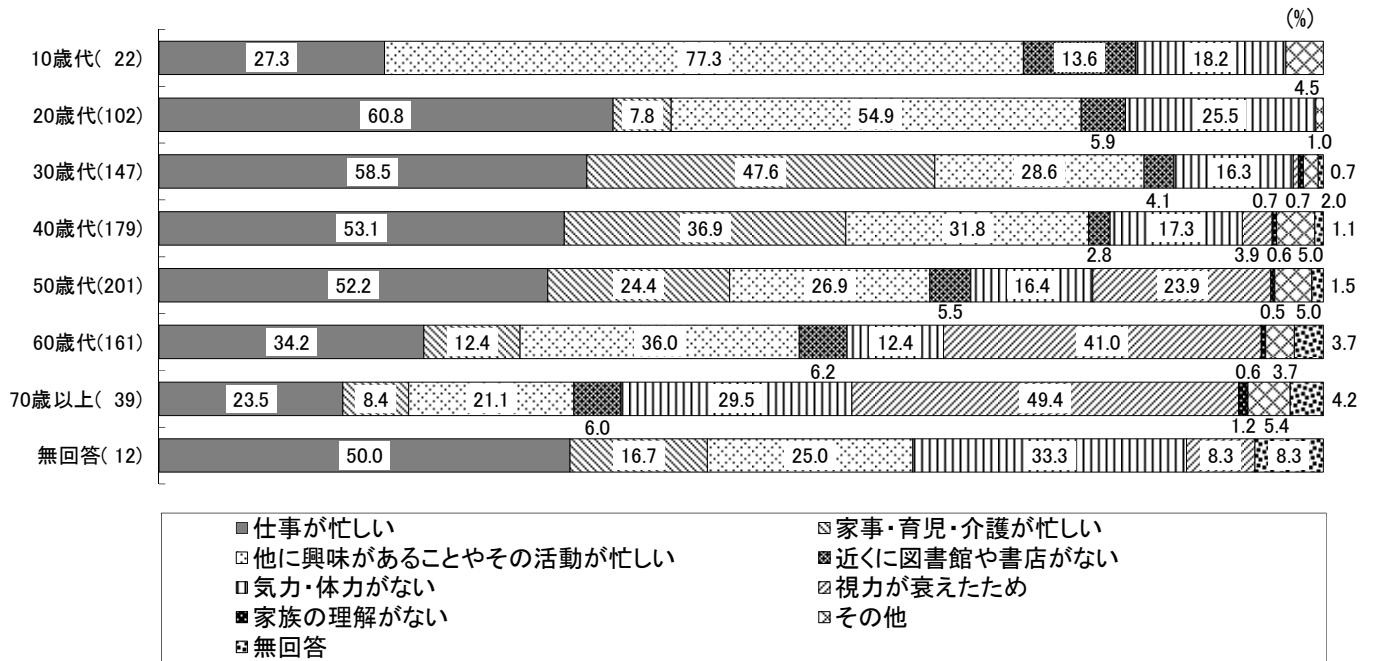
【全 体】



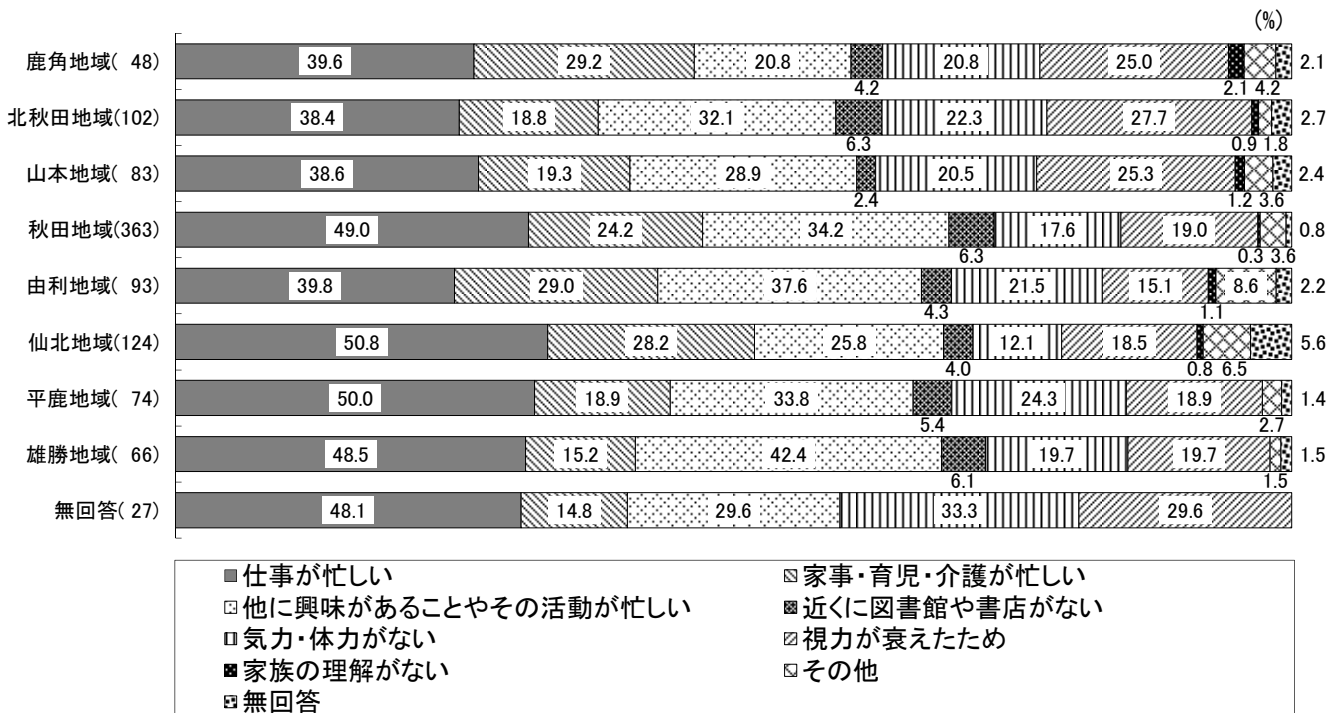
【性 別】



【年代別】



【地域別】



5 県の行財政改革の取組について

(1) 県民や市町村との協働・連携

◆あなたは、県の行財政改革の取組状況について、どのように評価しますか。

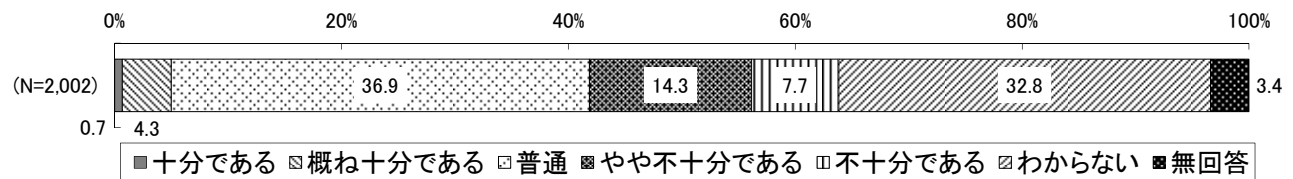
①県民や市町村との協働・連携について（質問3-5-1）

全体では、「十分である」が0.7%、「概ね十分である」が4.3%に対し「不十分である」が7.7%、「やや不十分である」が14.3%となっている。「普通」が36.9%、「わからない」は32.8%となっている。

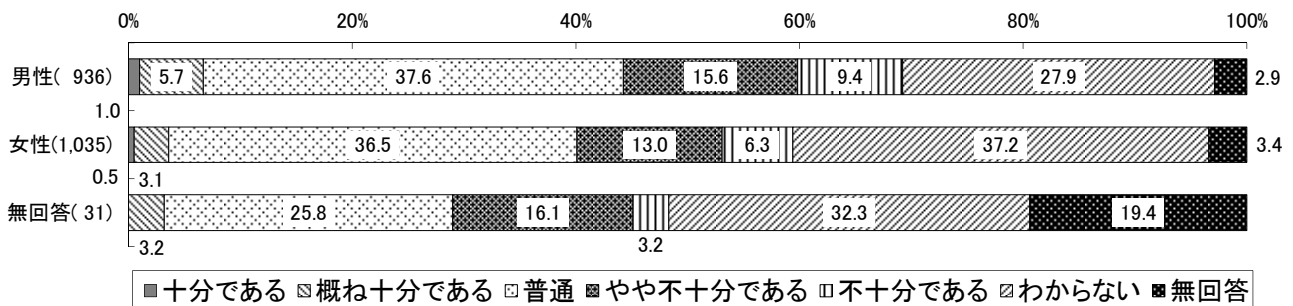
性別では、評価について大きな差は見られないが、女性の方が「わからない」としている割合が高い。

年代別では、「十分である」、「概ね十分である」と感じている人は10歳代で11.4%と、他の年代に比べ最も高く、30歳代が2.5%と最も低くなっている。

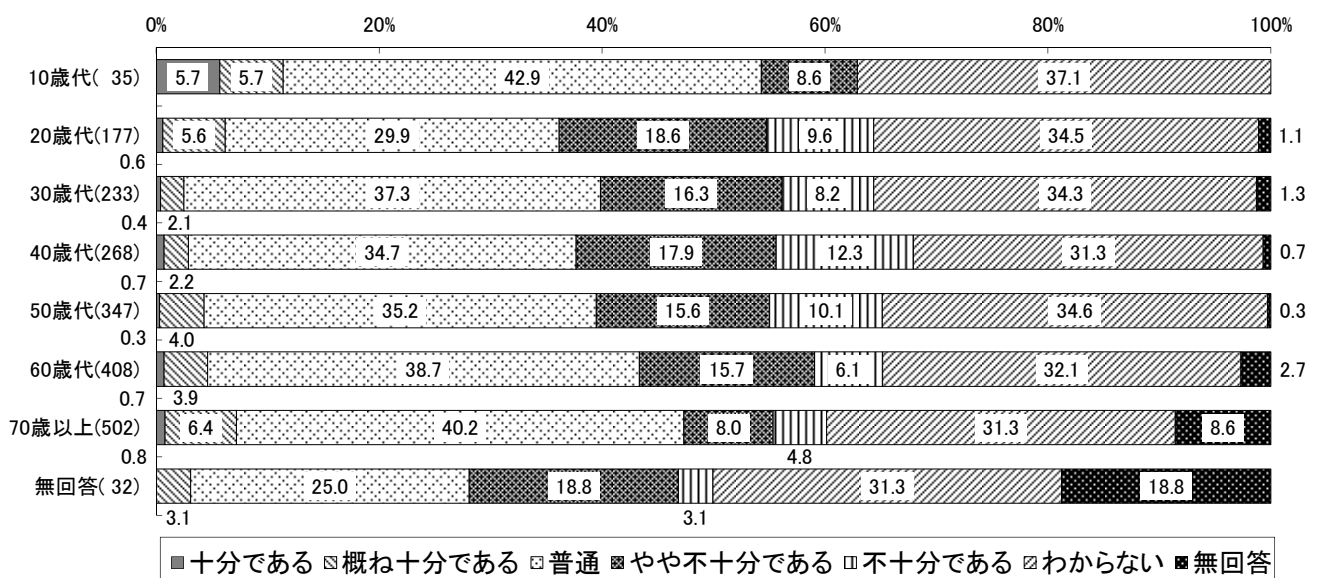
【全体】



【性別】



【年代別】



(2) 行政の質と効率の向上

◆あなたは、県の行財政改革の取組状況について、どのように評価しますか。

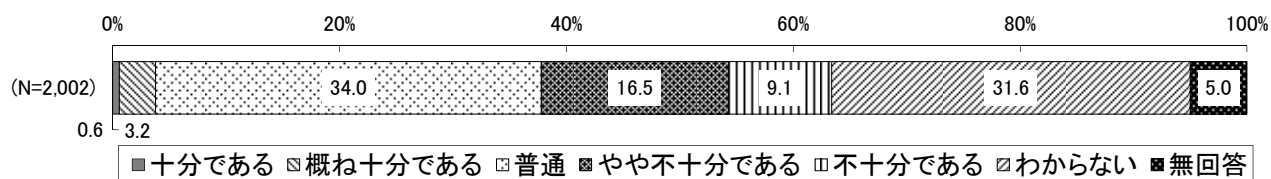
②行政の質と効率の向上について（質問3-5-2）

全体では、「十分である」が0.6%、「概ね十分である」が3.2%に対し、「不十分である」が9.1%、「やや不十分である」が16.5%となっている。「普通」が34.0%、「わからない」は31.6%となっている。

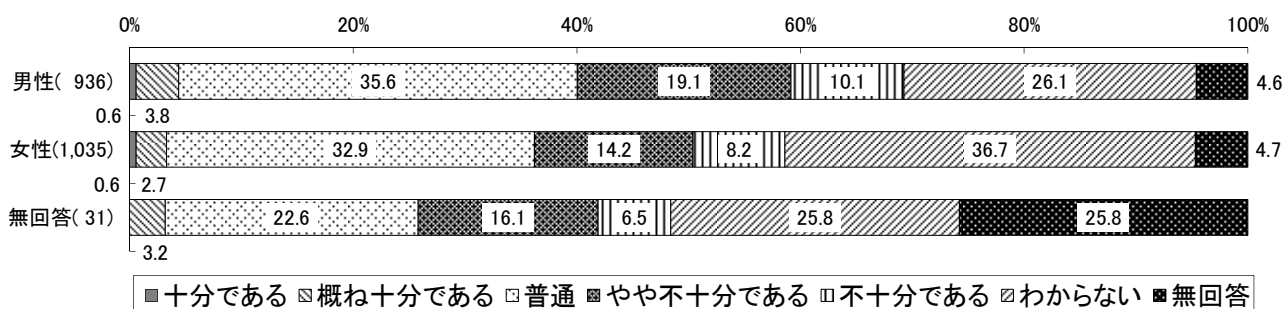
性別では、評価について大きな差は見られないが、女性の方が「わからない」としている割合が高い。

年代別では、「十分である」、「概ね十分である」と感じている人が10歳代で5.7%と、他の年代に比べ最も高く、60歳代が2.7%と最も低くなっている。

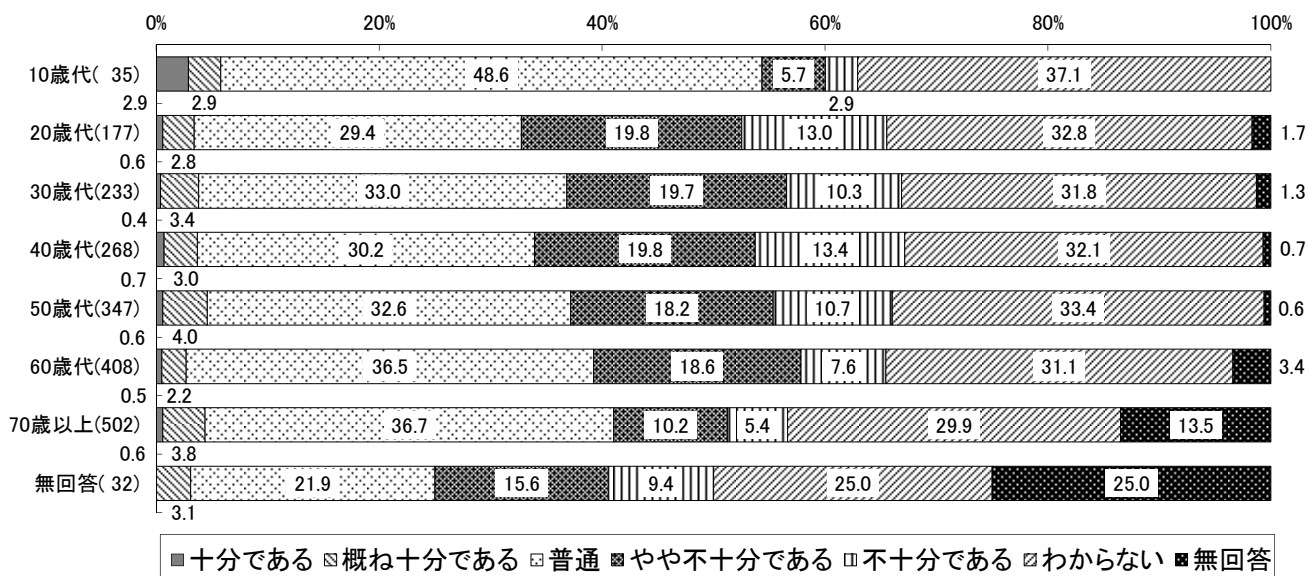
【全体】



【性別】



【年代別】



(3) 健全な財政運営

◆あなたは、県の行財政改革の取組について、どのように評価しますか。

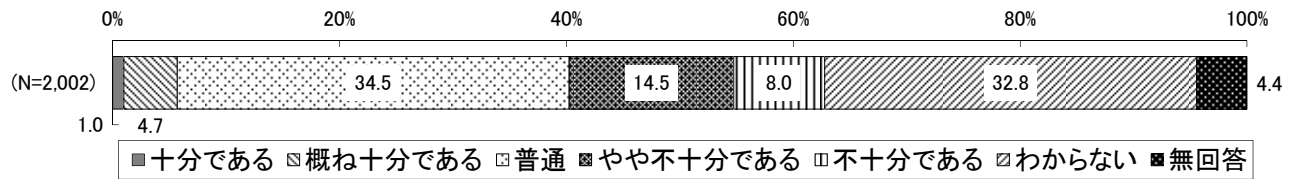
③健全な財政運営について（質問3-5-3）

全体では、「十分である」が1.0%、「概ね十分である」が4.7%に対し、「不十分である」が8.0%、「やや不十分である」が14.5%となっている。「普通」が34.5%、「わからない」は32.8%となっている。

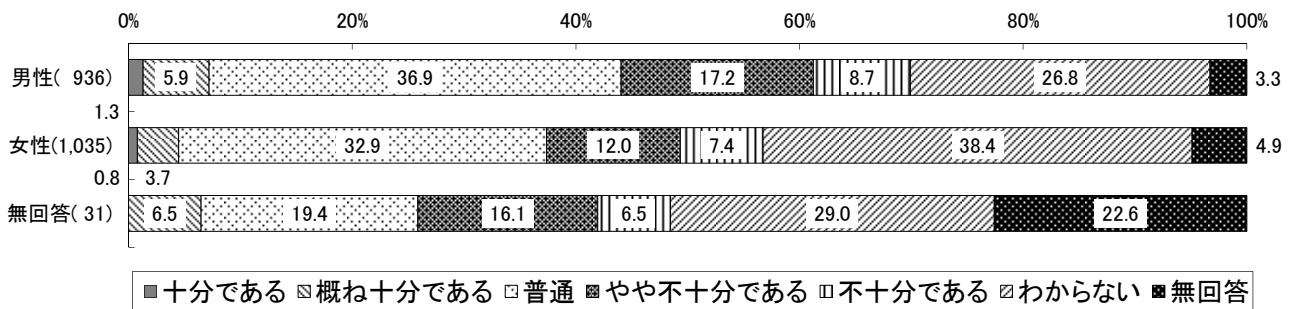
性別では、評価について大きな差は見られないが、女性の方が「わからない」としている割合が高い。

年代別では、「十分である」、「概ね十分である」と感じている人は10歳代で14.3%と、他の年代に比べ最も高く、40歳代が4.4%と最も低くなっている。

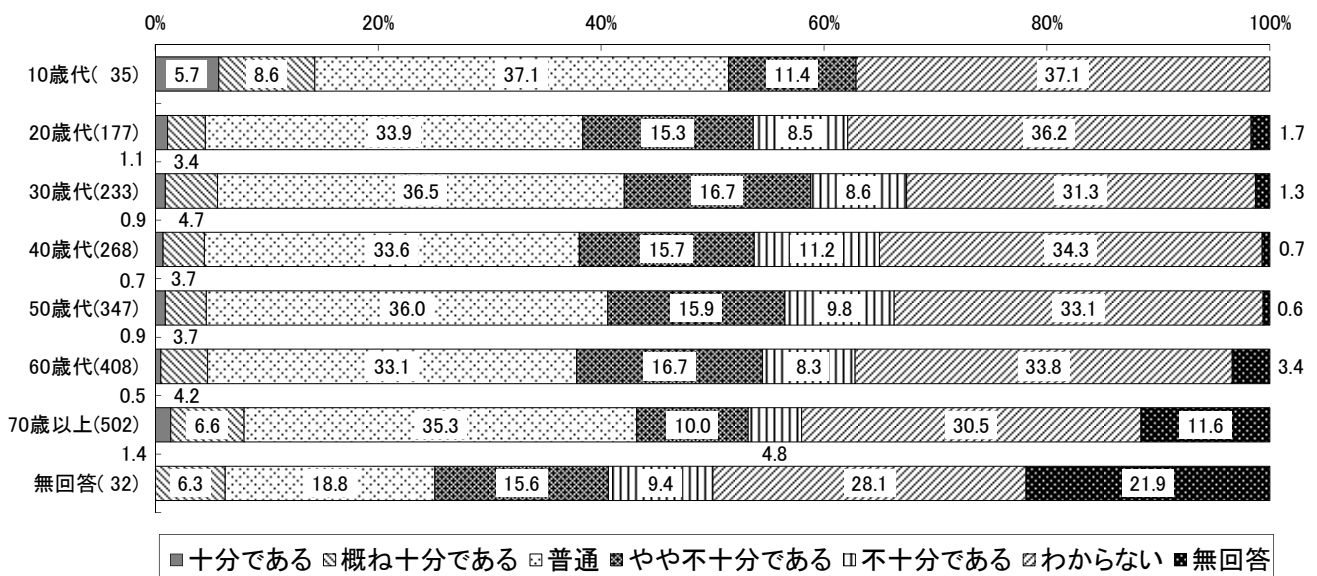
【全体】



【性別】



【年代別】



6 社会活動・地域活動について

(1) 「社会活動・地域活動」への関心度

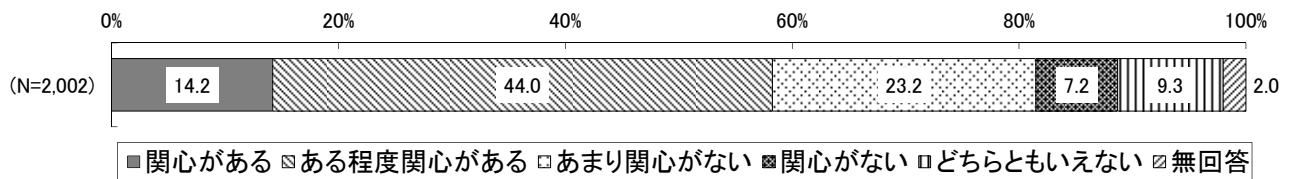
◆あなたは「社会活動・地域活動」について関心はありますか。(質問3-6-1)

全体では、「関心がある」が14.2%、「ある程度関心がある」が44.0%に対し、「関心がない」が7.2%、「あまり関心がない」が23.2%となっている。「どちらともいえない」は9.3%となっている。

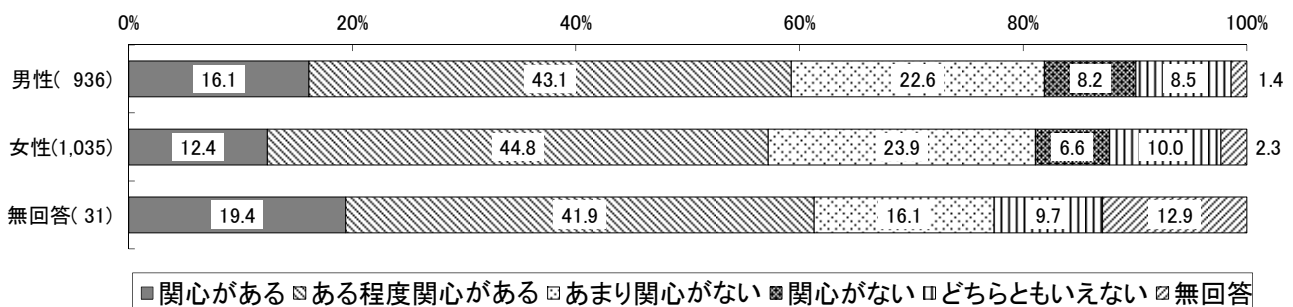
性別では、「関心がある」割合は女性に比べ男性が僅かに高くなっている。

年代別では、10歳代で「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた関心がある方の割合は71.5%と、他の年代に比べ最も高く、30歳代の47.6%が最も低くなっている。

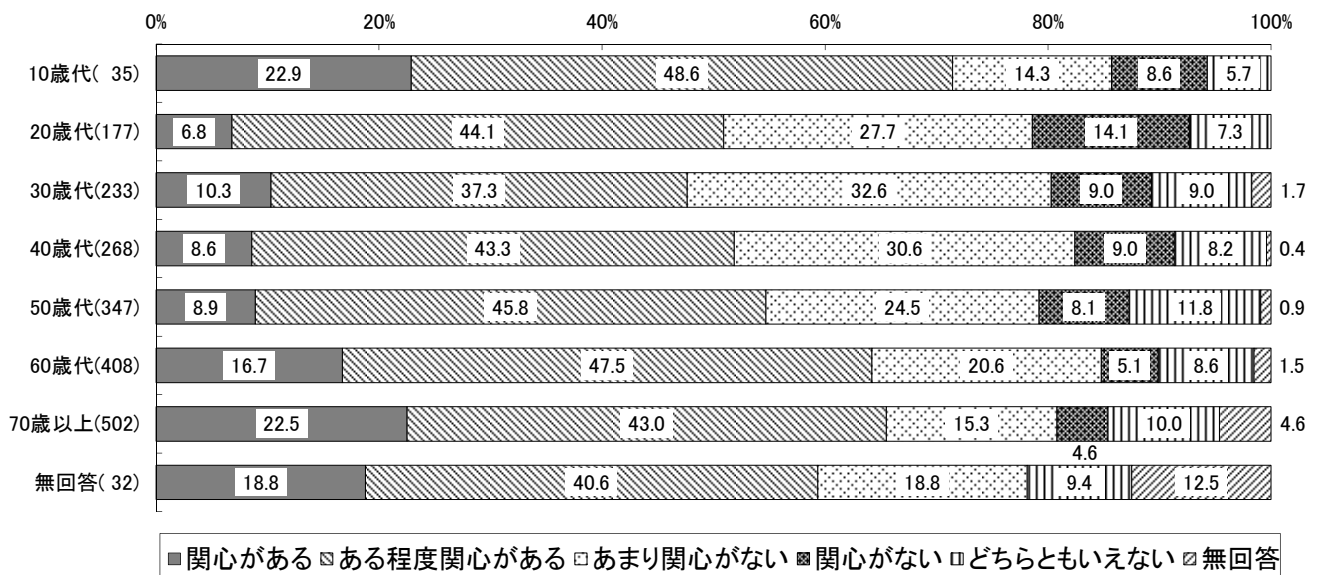
【全体】



【性別】



【年代別】



(2) 「社会活動・地域活動」への取組の有無

◆ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」に取り組んだことがありますか。

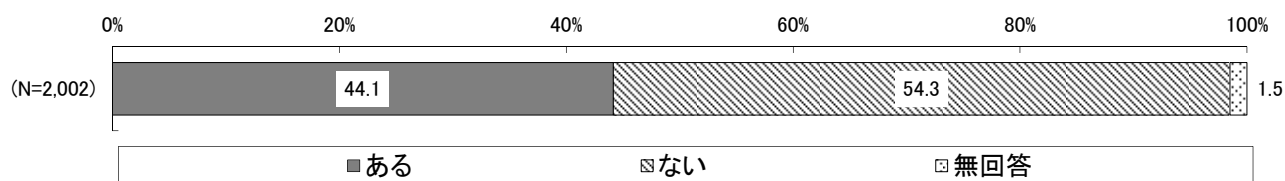
(質問3-6-2)

全体では、「ある」が44.1%で、「ない」が54.3%となっている。

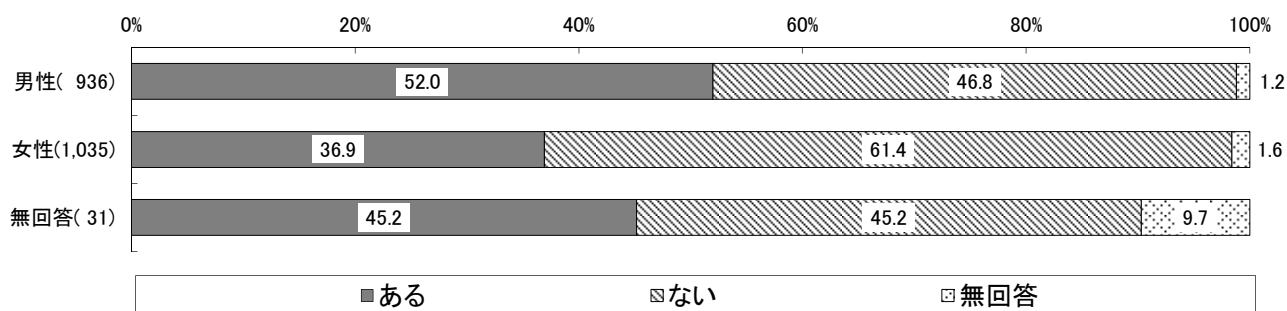
性別では、「ある」は男性で52.0%、女性で36.9%となっており、男性の方が高くなっている。

年代別では、60歳代で「ある」が53.9%と他の年代に比べ最も高く、20歳代で23.7%と最も低くなっている。

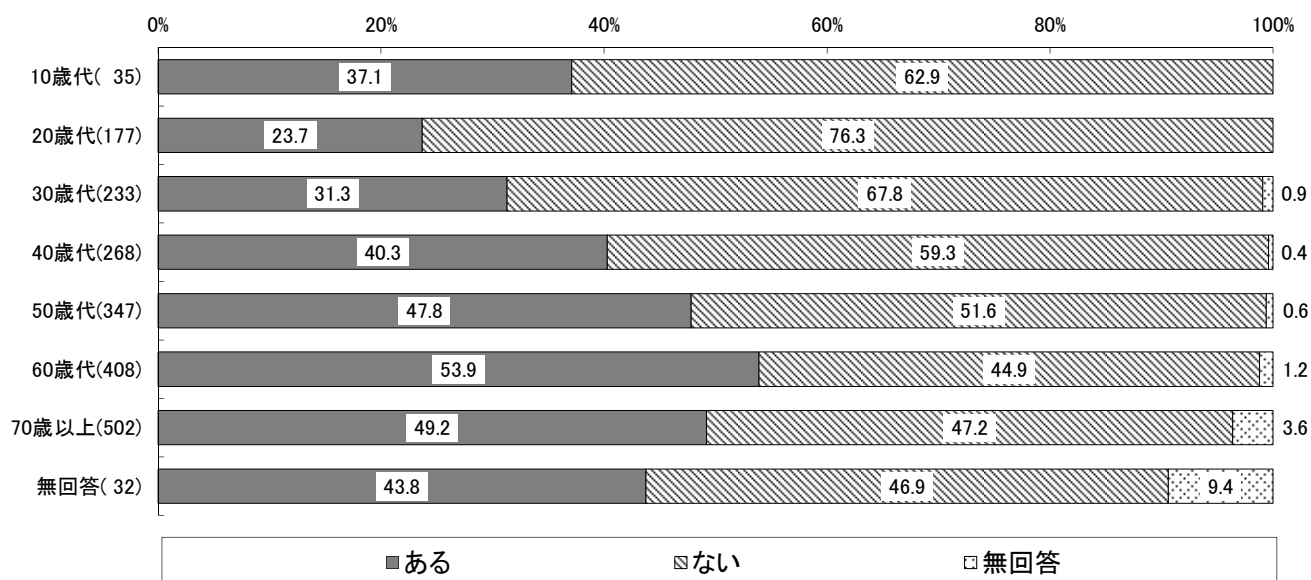
【全体】



【性別】



【年代別】



(3) 「社会活動・地域活動」への取組の頻度

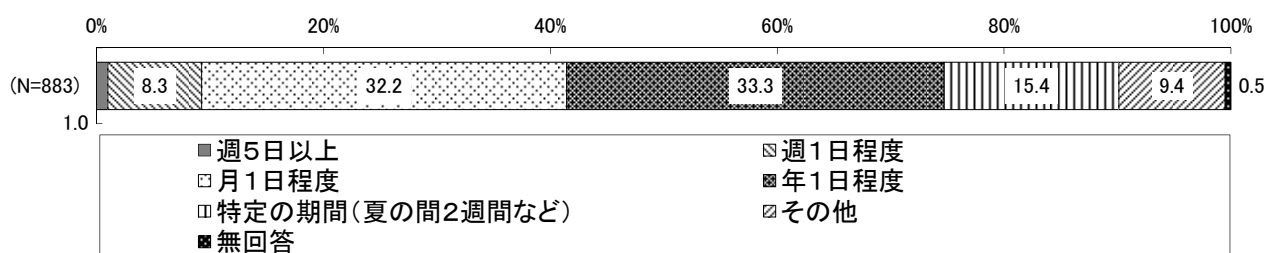
◆上記の質問で「ある」と答えた方にお聞きします。「社会活動・地域活動」に取り組んだ頻度でもっとも当てはまるものはどれですか。(質問3-6-3)

全体では、「年1日程度」が33.3%と最も多く、次いで「月1日程度」の32.2%、「特定の期間(夏の間2週間など)」が15.4%と続いている。

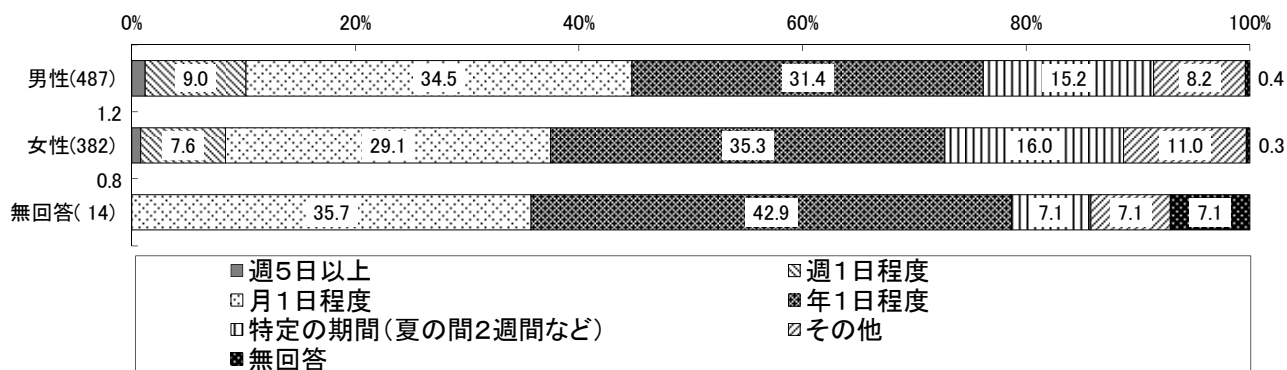
性別では、男性は「月1日程度」の割合が最も多く、女性は「年1日程度」の割合が最も多い。

年代別では、20歳代は「年1日程度」が52.4%と最も多く、70歳以上は「月1日程度」が40.1%と最も多くなっている。

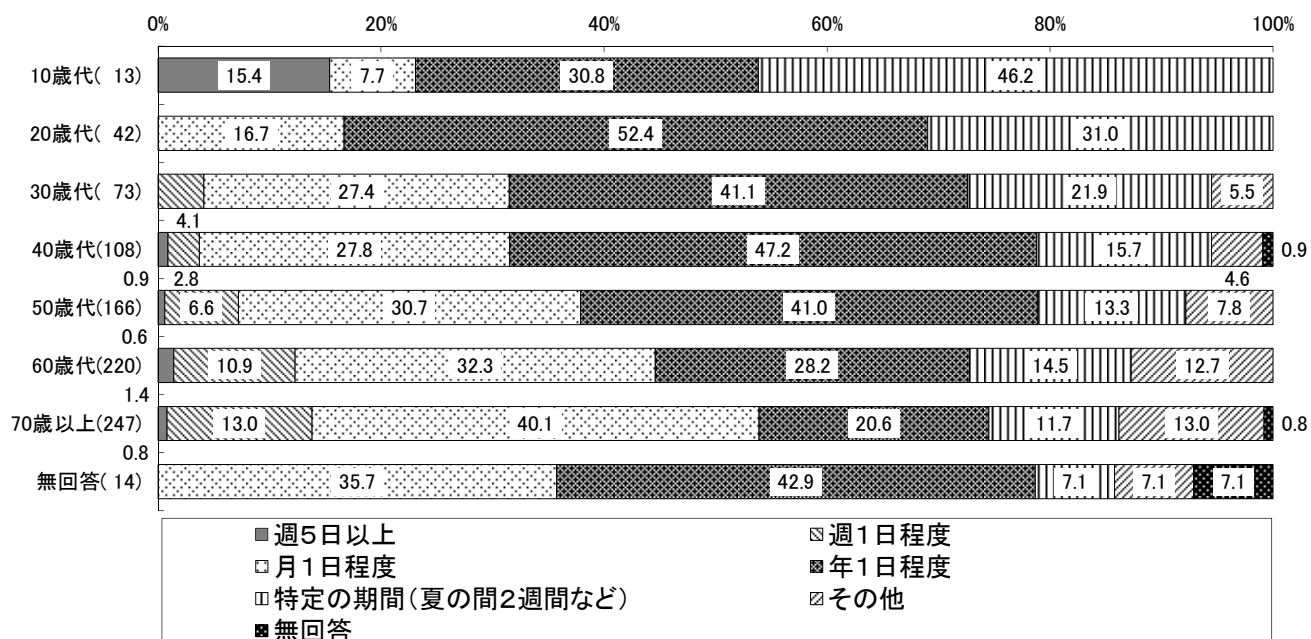
【全体】



【性別】



【年代別】



(4) 「社会活動・地域活動」へ取り組んでいない理由

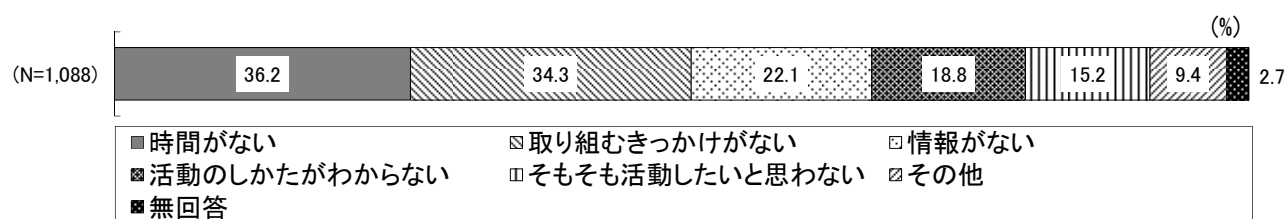
◆上記の質問に「ない」とお答えした方にお聞きします。「社会活動・地域活動」へ取り組んでいない理由はどれですか。(複数選択可)(質問3-6-4)

全体では、「時間がない」が36.2%と最も多く、次いで「取り組むきっかけがない」の34.3%となっており、「情報がない」が22.1%と続いている。

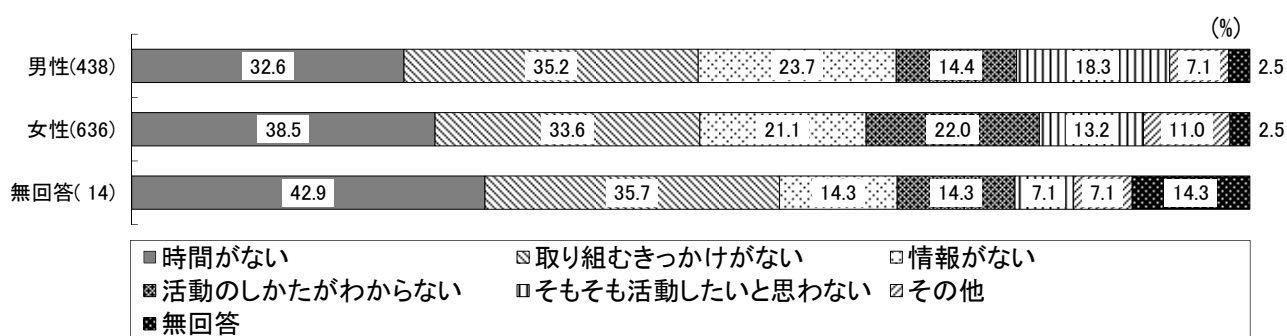
性別では、男性で「取り組むきっかけがない」が35.2%と最も多く、次いで「時間がない」が32.6%となっている。女性では、「時間がない」の38.5%が最も多く、次いで「取り組むきっかけがない」の33.6%となっている。

年代別では、20歳代では「取り組むきっかけがない」が47.4%と最も多く、30歳代では「時間がない」が50.0%と最も多くなっている。

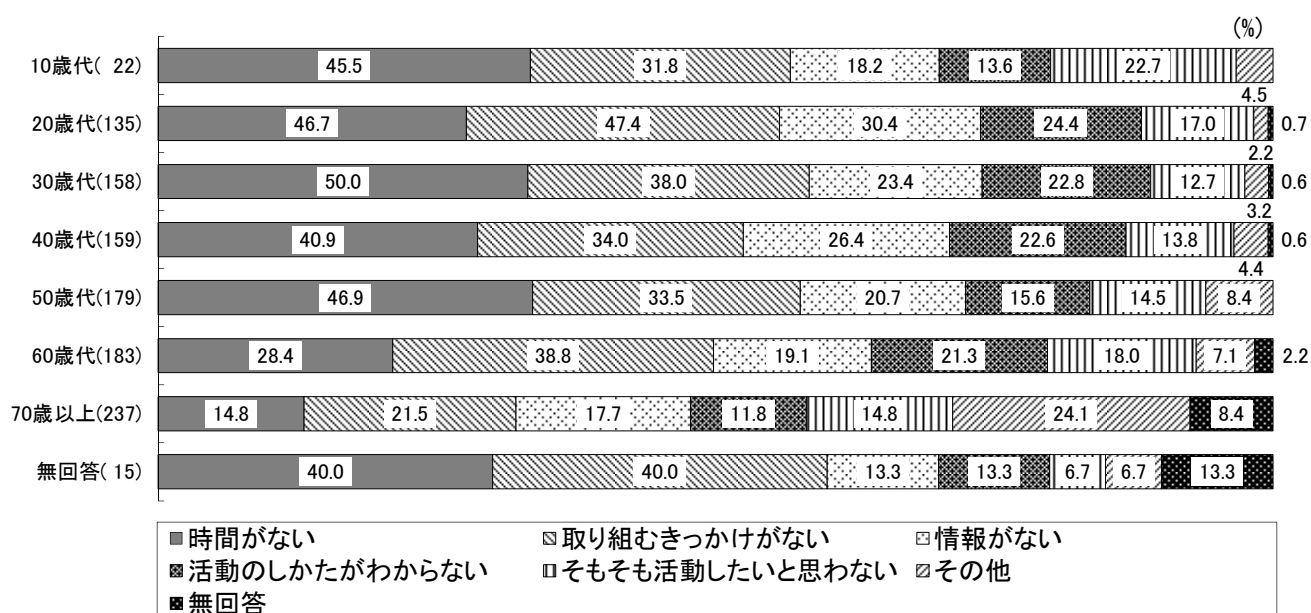
【全体】



【性別】



【年代別】



(5) 地域社会づくりについて県の取組評価

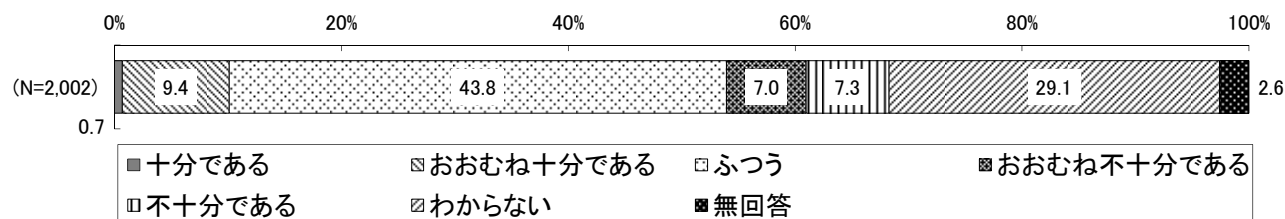
◆あなたは、幅広い県民層や多様な実施主体の協働による地域社会づくりについて、県の取組をどのように評価しますか。(質問3-6-5)

全体では、「十分である」が0.7%、「おおむね十分である」が9.4%に対し、「不十分である」が7.3%、「おおむね不十分である」が7.0%となっている。「ふつう」が43.8%、「わからない」は29.1%となっている。

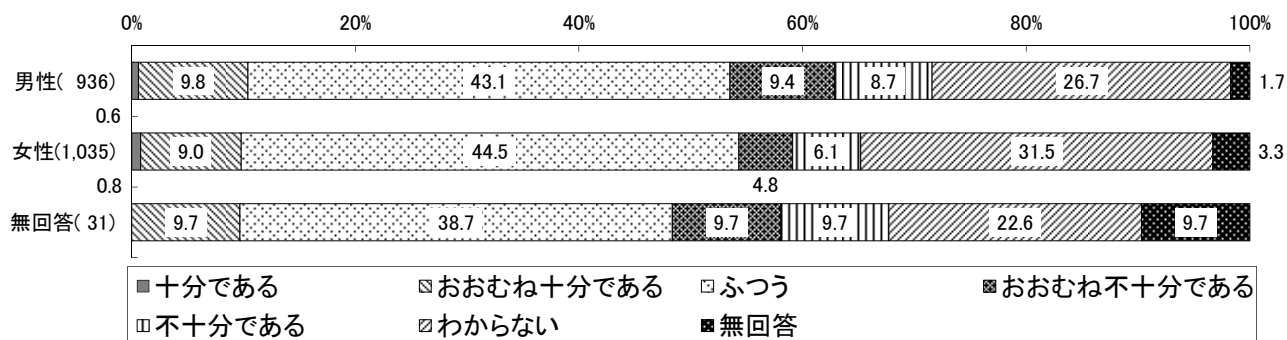
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、「不十分である」が20歳代、40歳代で他の年代に比べ高くなっている。

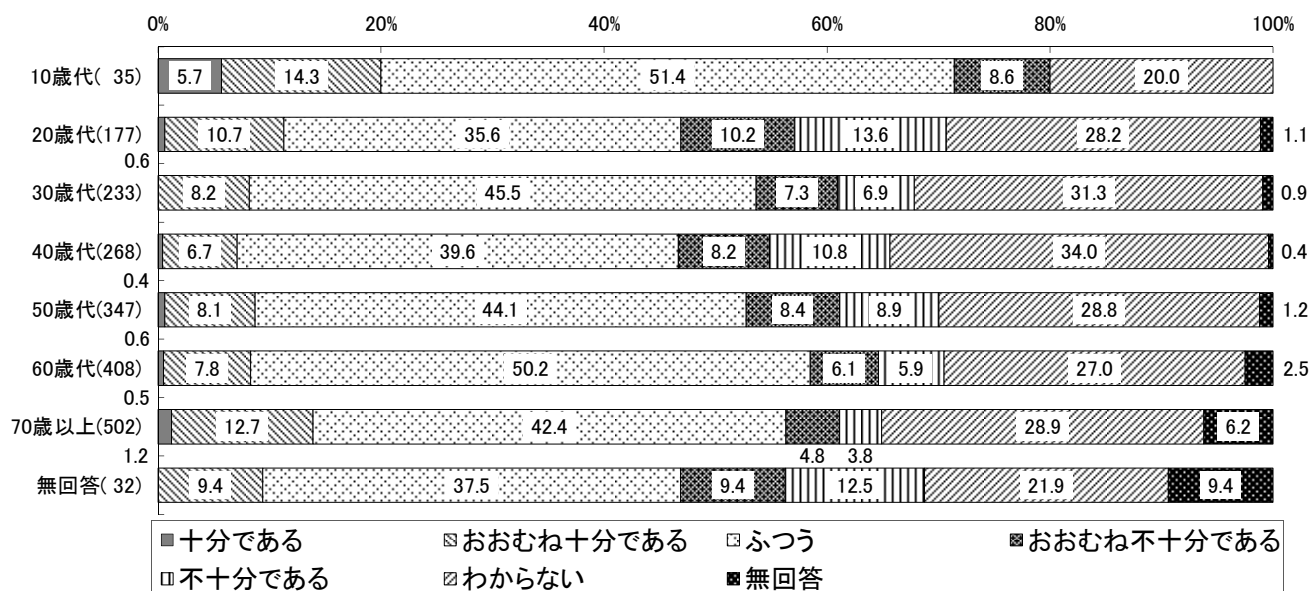
【全体】



【性別】



【年代別】



7 地域社会の住みやすさについて

(1) 居住地域の住みやすさ

◆あなたは現在お住まいの地域の住みやすさについて、どう思われますか。(質問3-7)

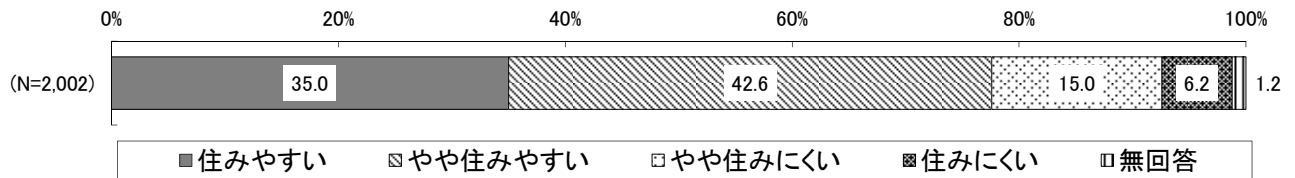
全体では、「住みやすい」が35.0%、「やや住みやすい」が42.6%に対し、「住みにくい」が6.2%、「やや住みにくい」が15.0%となっている。

性別では、大きな違いは見られない。

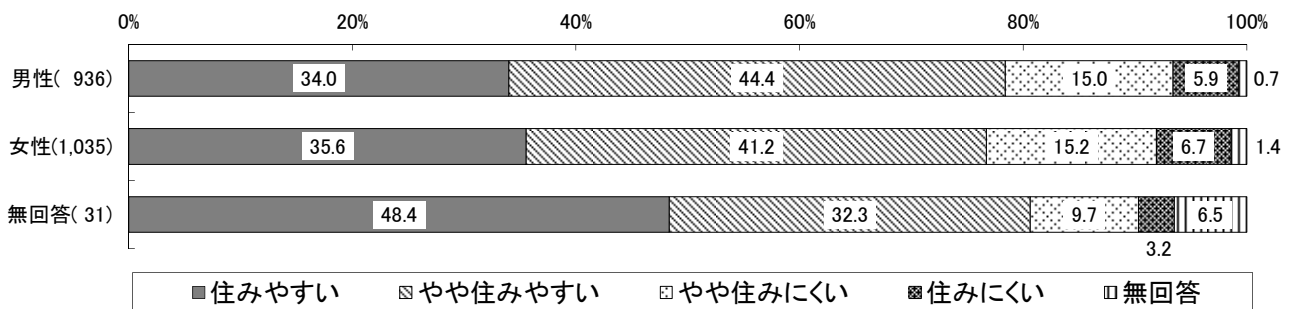
年代別では、70歳以上で「住みやすい」が43.6%と他の年代に比べ最も高い。「住みにくい」、「やや住みにくい」を合わせた回答率は20歳代が最も高くなっている。

居住地域別では、「住みやすい」の回答率は仙北地域で38.5%と他の地域に比べ最も高く、鹿角地域で20.7%と最も低くなっている。「住みにくい」、「やや住みにくい」を合わせた回答率は、由利地域で最も低くなっている。

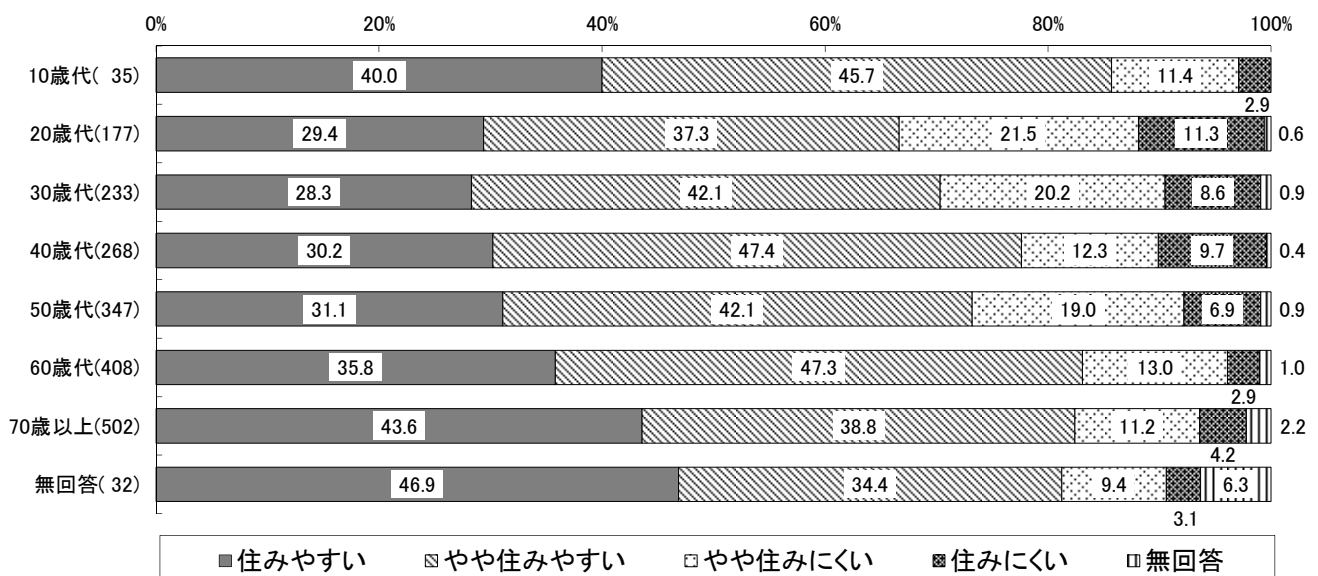
【全体】



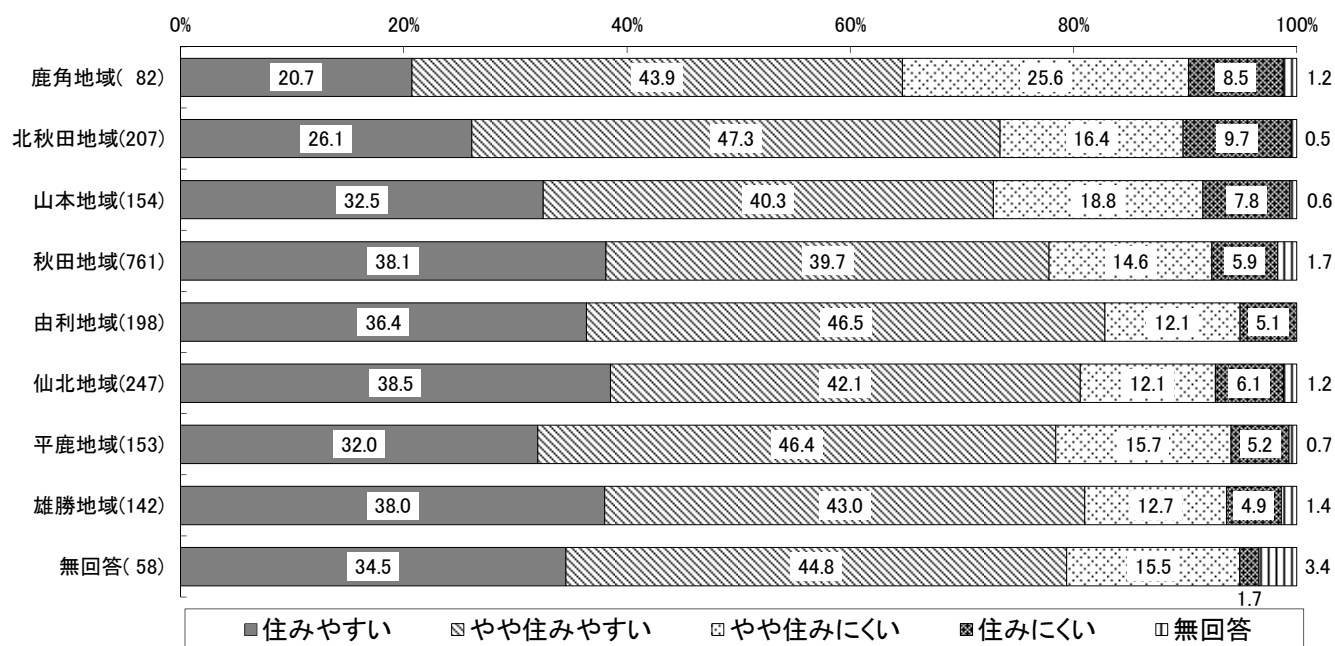
【性別】



【年代別】



【地域別】



8 雪対策について

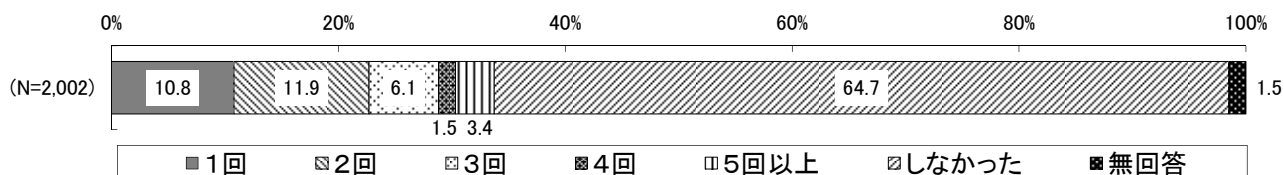
(1) 昨年度の雪下ろし頻度

◆あなたの家では、平成27年度の冬（平成27年11月から平成28年3月まで）に屋根（住家）の雪下ろしを何回しましたか。（質問3-8-1）

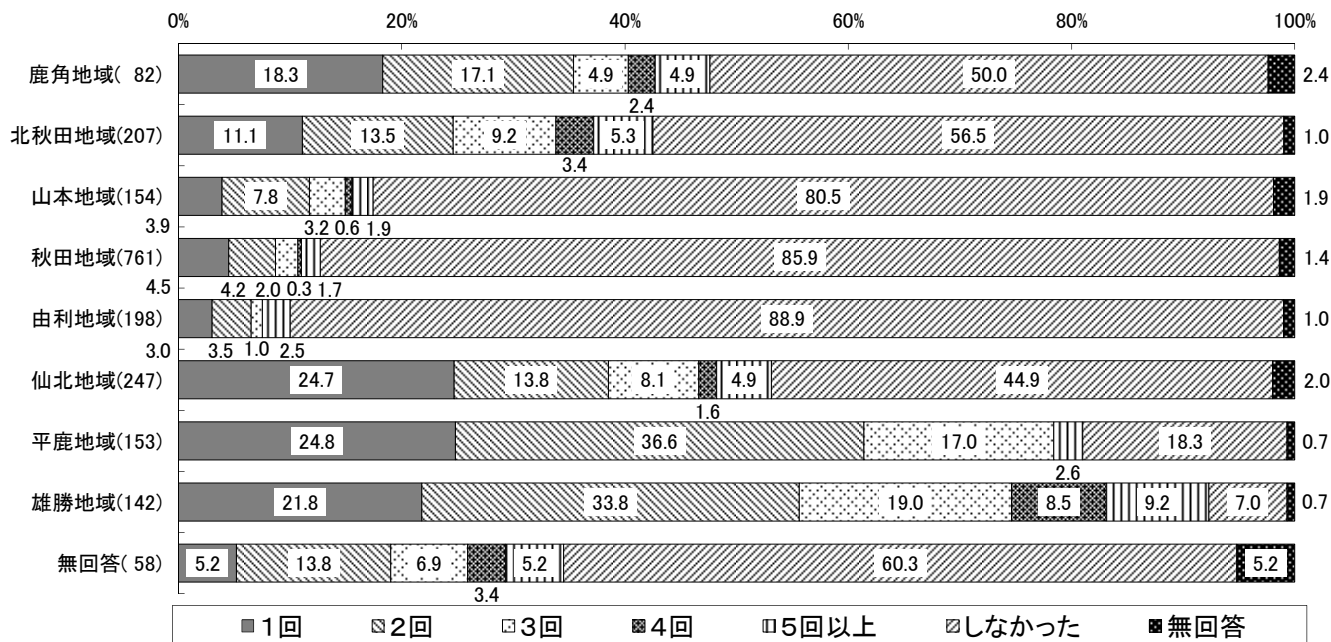
全体では、「しなかった」の64.7%が最も多い。次いで「2回」の11.9%、「1回」の10.8%となっている。「5回以上」は3.4%となっている。

地域別では山本地域、秋田地域、由利地域で「しなかった」の割合が高くなっているが、平鹿地域、雄勝地域では2回以上雪下ろしをした人は半数を超えており、特に雄勝地域では70.5%と高くなっている。

【全体】



【地域別】



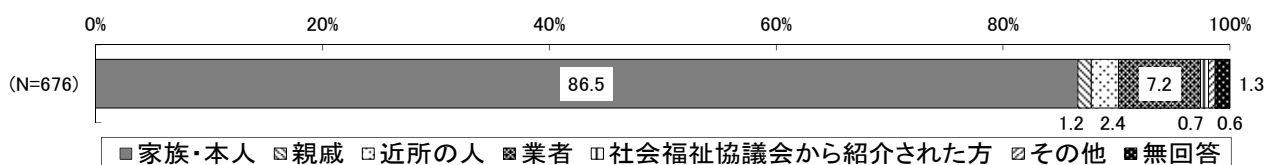
(2) 雪下ろしの作業者

◆上記の質問で「1～5」と答えた方にお聞きします。屋根の雪下ろしは誰が主に行いましたか。

(質問3-8-2)

全体では、「家族・本人」の86.5%が最も高く、次いで「業者」が7.2%、「近所の人」が2.4%、「親戚」が1.2%、「社会福祉協議会から紹介された方」が0.7%、「その他」が0.6%となっている。

【全体】



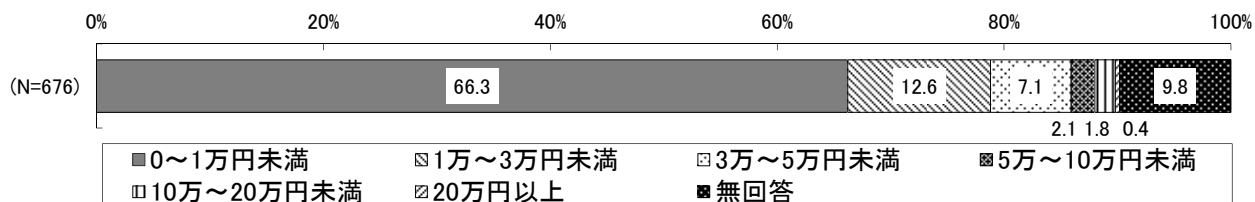
(3) 雪下ろしの経費

◆平成27年度の冬期間の屋根の雪下ろしに、総額ではどのくらいの経費がかかりましたか。

(質問3-8-3)

全体では、「0～1万円未満」の66.3%が最も多く、次いで「1万～3万円未満」が12.6%、「3万～5万円未満」が7.1%、「5万～10万円未満」が2.1%、「10万～20万円未満」が1.8%、「20万円以上」が0.4%となっている。

【全体】

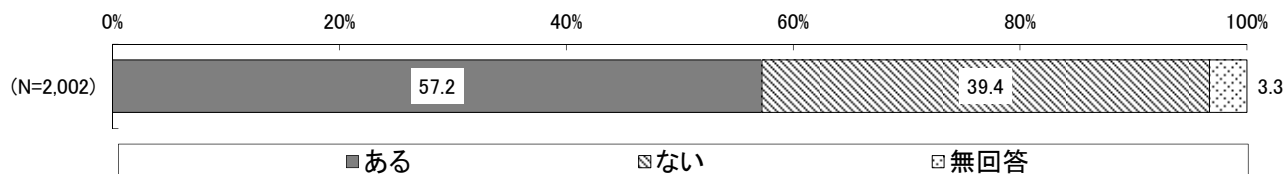


(4) 除雪で困ったことの有無

◆あなたは、平成27年度の冬期間に自宅の除雪や、行政が行った道路除雪など、雪に関して困ったことがありましたか (質問3-8-4)

全体では、「ある」が57.2%で、「ない」が39.4%となっている。

【全体】

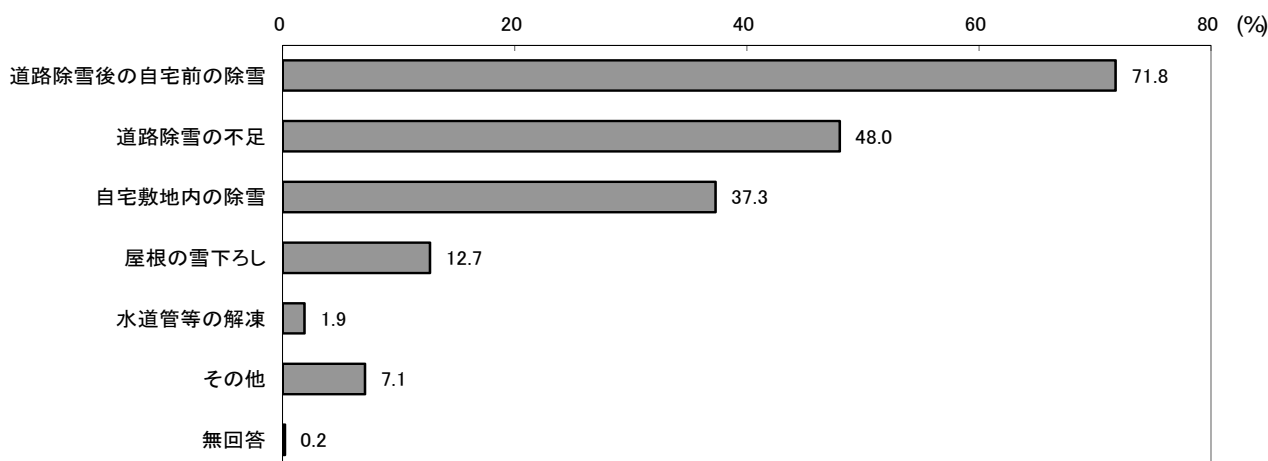


(5) 困ったことの内容

◆あなたが困ったことで、当てはまるものはどれですか。(3つまで選択可) (質問3-8-5)

全体では、「道路除雪後の自宅前の除雪」の71.8%が最も多く、次いで「道路除雪の不足」が48.0%、「自宅敷地内の除雪」が37.3%と続いている。

【全体】



9 循環型社会の形成について

(1) ごみ問題への関わり

◆あなたは日ごろの暮らしの中で、ごみ問題を意識してごみを捨てるようにしていますか。

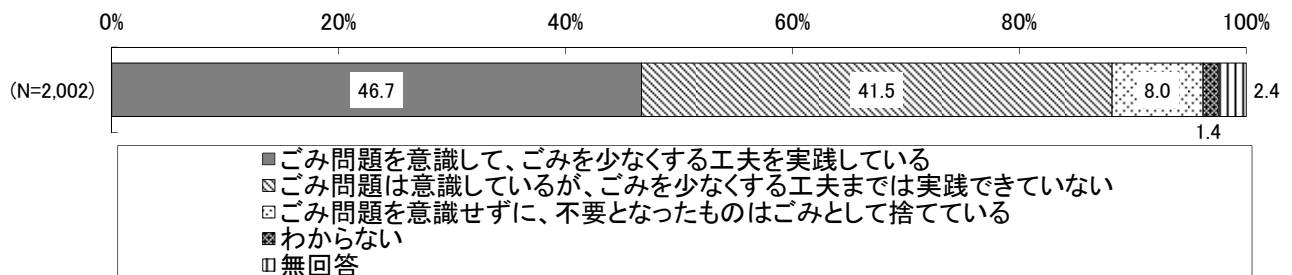
(質問3-9-1)

全体では、「ごみ問題を意識して、ごみを少なくする工夫を実践している」が46.7%、「ごみ問題は意識しているが、ごみを少なくする工夫までは実践できていない」が41.5%に対して、「ごみ問題を意識せずに、不要となったものはごみとして捨てている」が8.0%となっている。「わからない」は1.4%となっている。

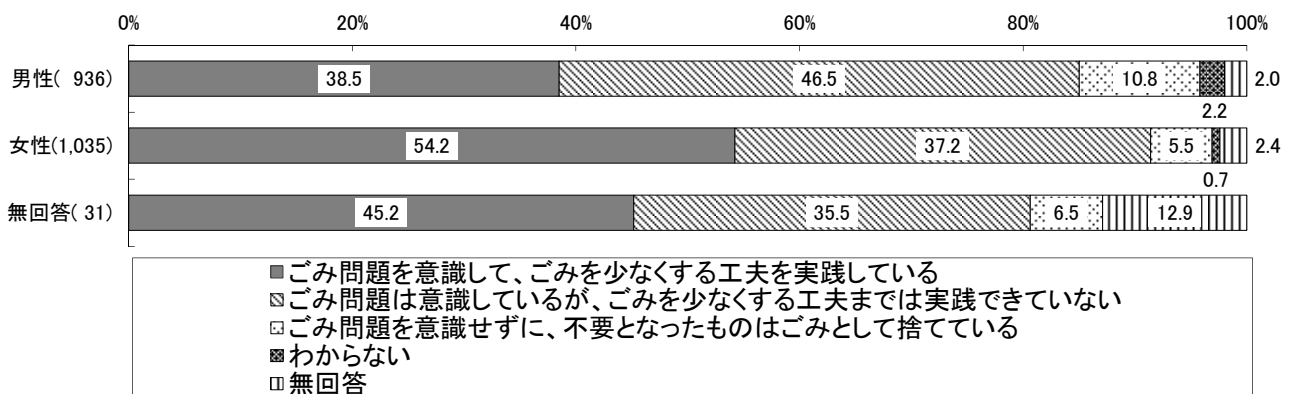
性別では、「ごみ問題を意識して、ごみを少なくする工夫を実践している」割合は女性の方が高い。

年代別では、「ごみ問題を意識して、ごみを少なくする工夫を実践している」が70歳以上で58.8%、60歳代で53.2%に対し、20歳代では22.0%と最も低くなっている。

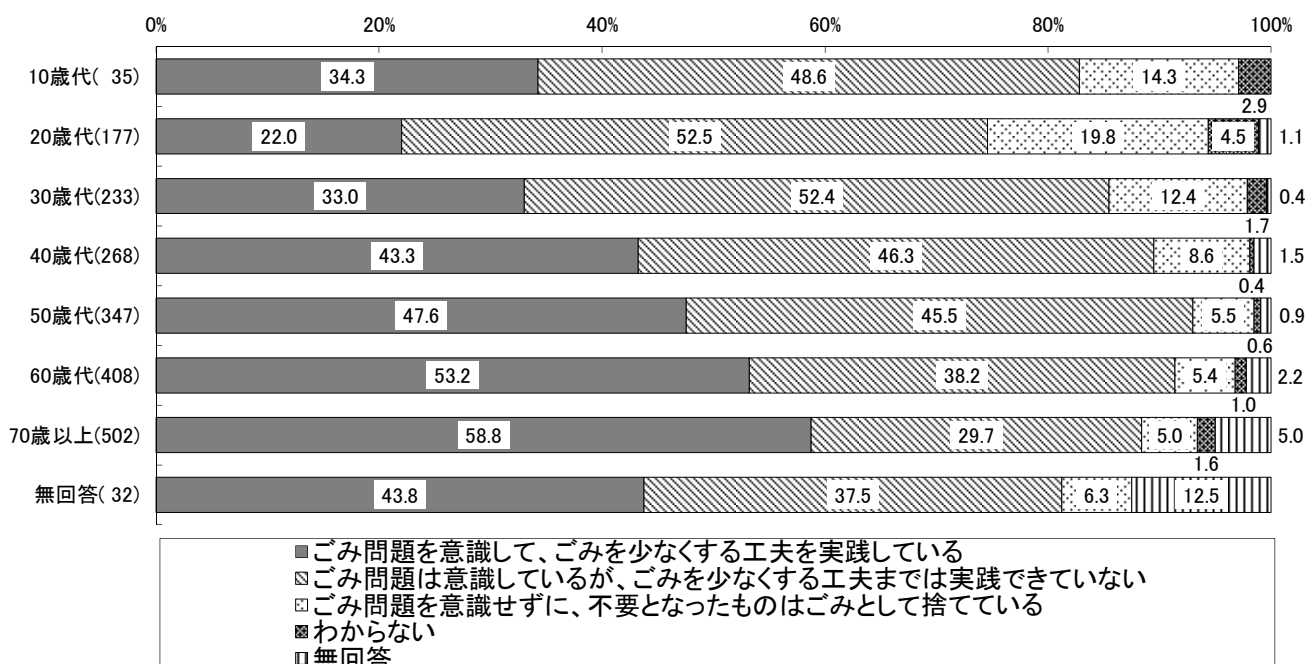
【全 体】



【性 別】



【年代別】

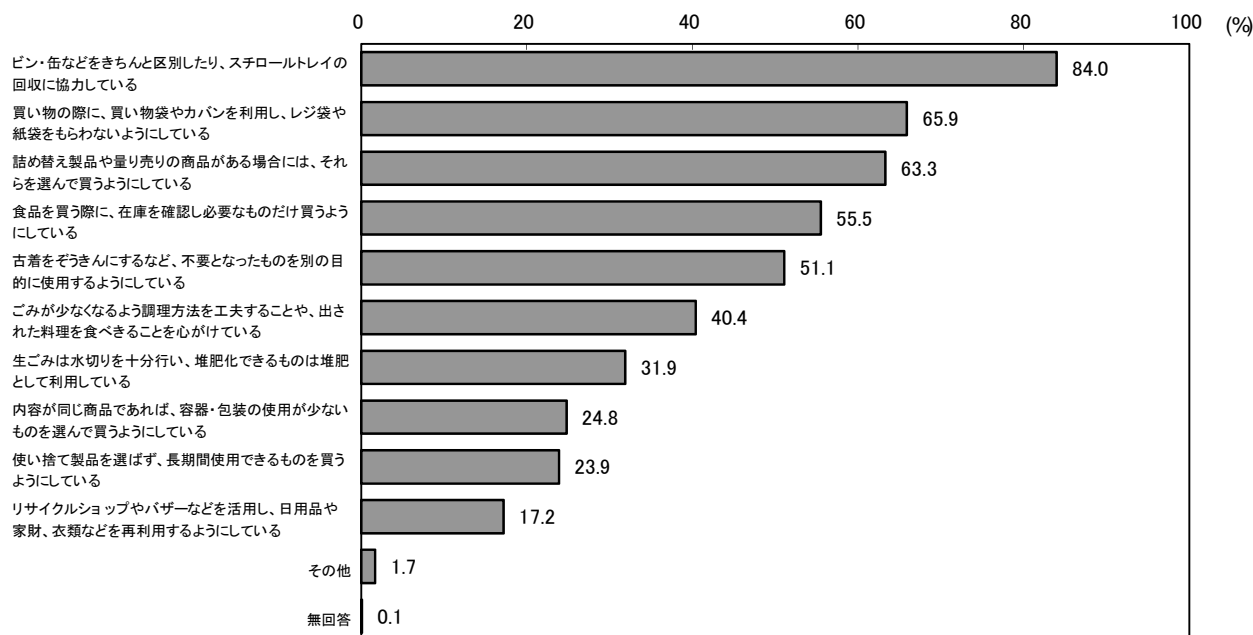


(2) 暮らしの中での取組

◆上記の質問で「ごみを少なくする工夫を実践している」と答えた方にお聞きします。あなたはごみを減らすために日ごろの暮らしの中で、どのような取組をしていますか。(複数選択可)(質問3-9-2)

全体では、「ビン・缶などをきちんと区別したり、スチロールトレイの回収に協力している」の84.0%が最も多く、次いで「買い物の際に、買い物袋やカバンを利用し、レジ袋や紙袋をもらわないようにしている」が65.9%、「詰め替え製品や量り売りの商品がある場合には、それらを選んで買うようにしている」が63.3%と続いている。

【全体】

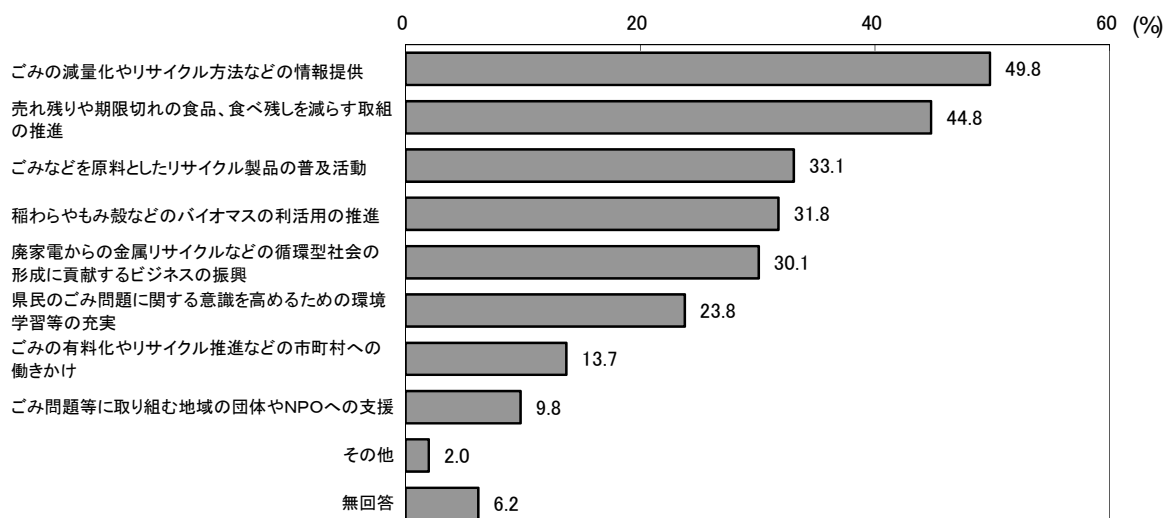


(3) 県の取組への期待

◆循環型社会の形成に向けて、県にどのような取組を期待しますか。(複数選択可)(質問3-9-3)

全体では、「ごみの減量化やリサイクル方法などの情報提供」の49.8%が最も多く、次いで「売れ残りや期限切れの食品、食べ残しを減らす取組の推進」が44.8%、「ごみなどを原料としたリサイクル製品の普及活動」が33.1%と続いている。

【全体】



10 地球温暖化対策について

(1) 優先させるべき対策

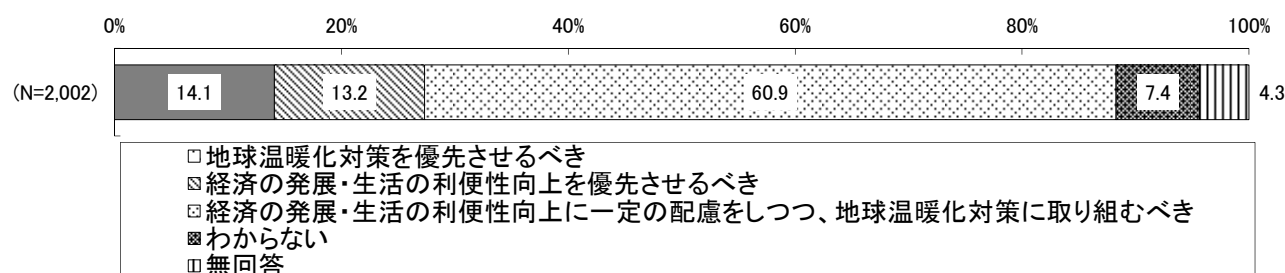
◆地球温暖化対策とともに、経済の発展・生活の利便性向上も重要な課題の1つです。あなたはどちらの対策を優先させるべきと思いますか。(質問3-10-1)

全体では、「経済の発展・生活の利便性向上に一定の配慮をしつつ、地球温暖化対策に取り組むべき」が60.9%、「地球温暖化対策を優先させるべき」が14.1%、「経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき」が13.2%となっている。

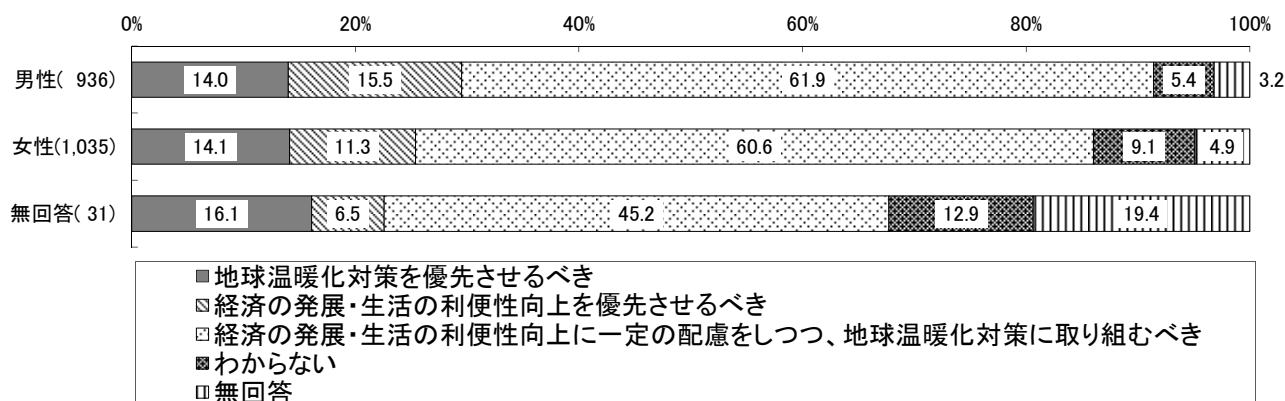
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、10歳代で「地球温暖化対策を優先させるべき」が20.0%と他の年代に比べ高くなっている。20歳代では「経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき」が25.4%と他の年代と比べ高くなっている。

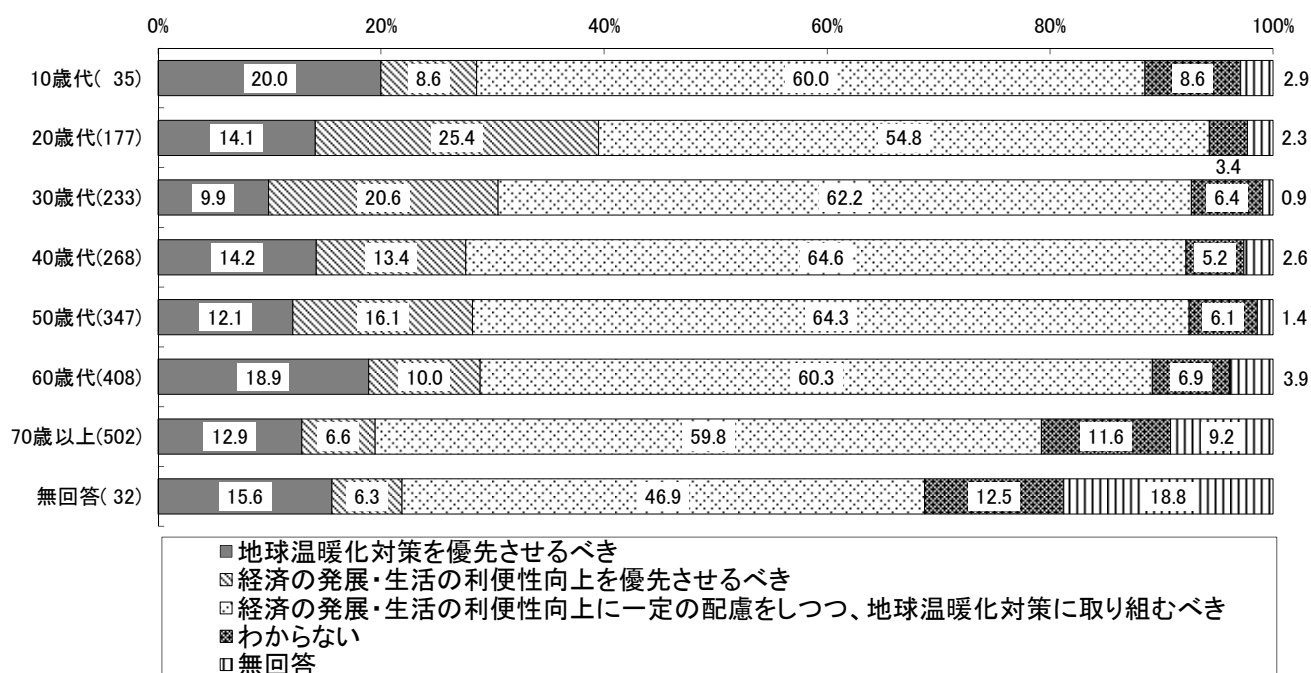
【全体】



【性別】



【年代別】

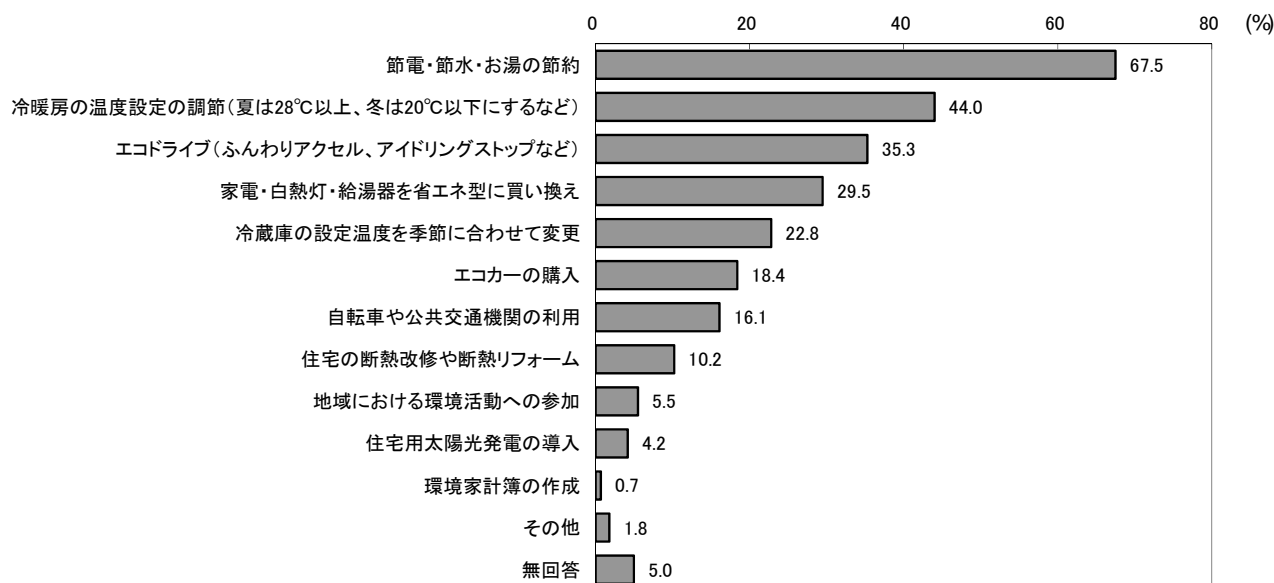


(2) 地球温暖化防止への取組

◆あなたは、地球温暖化防止に関してどのような取組（予定含む）をしていますか。（複数選択可）
（質問3-10-2）

全体では、「節電・節水・お湯の節約」の67.5%が最も多く、次いで「冷暖房の温度設定の調節（夏は28℃以上、冬は20℃以下にするなど）」が44.0%、「エコドライブ（ふんわりアクセル、アイドリングストップなど）」が35.3%、「家電・白熱灯・給湯器を省エネ型に買い換え」が29.5%、「冷蔵庫の設定温度を季節に合わせて変更」が22.8%と続いている。

【全体】

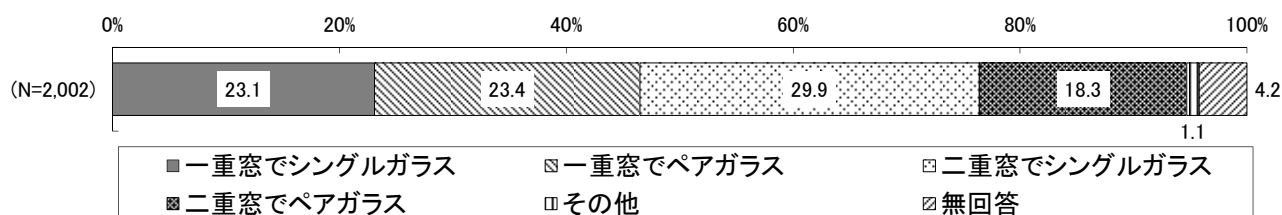


(3) 窓と窓ガラスの種類

◆お住まいの主に居住する空間（居間など）について、窓と窓ガラスの種類を教えてください。（窓が複数ある場合は一番大きなものについてお答えください）（質問3-10-3）

全体では、「二重窓でシングルガラス」が29.9%と最も多く、次いで「一重窓でペアガラス」の23.4%、「一重窓でシングルガラス」の23.1%、「二重窓でペアガラス」が18.3%となっている。

【全体】

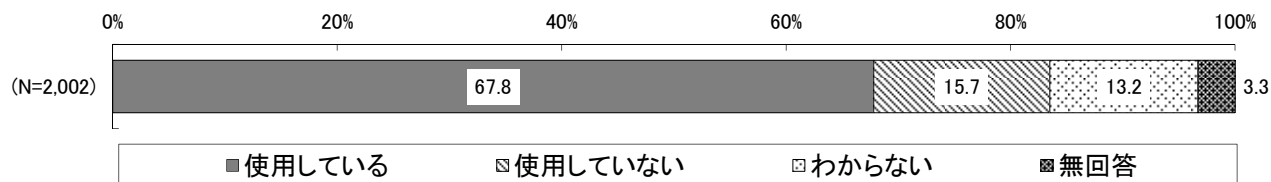


(4) 断熱材の使用有無

◆お住まいに断熱材を使用していますか。(質問3-10-4)

全体では、「使用している」が67.8%、「使用していない」が15.7%、「わからない」が13.2%となっている。

【全体】

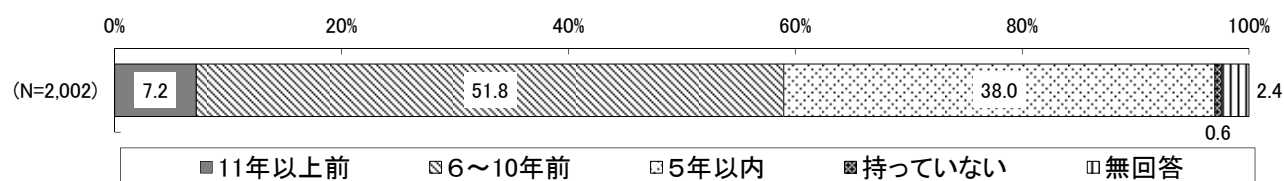


(5) テレビの購入時期

◆ご家庭にあるテレビの購入時期について教えてください。(複数ある場合は、日常最もよく使用するものについてお答えください)(質問3-10-5)

全体では、「6～10年前」が51.8%と半数以上となっている。「5年以内」は38.0%、「11年以上前」が7.2%、「持っていない」が0.6%となっている。

【全体】

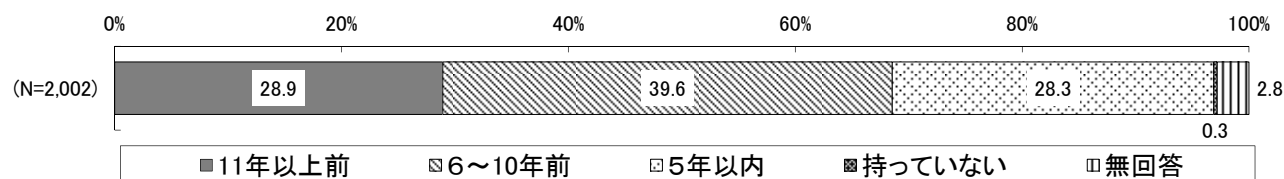


(6) 冷蔵庫の購入時期

◆ご家庭にある冷蔵庫の購入時期について教えてください。(複数ある場合は、一番大型のものについてお答えください)(質問3-10-6)

全体では、「6～10年前」が39.6%で最も多く、「11年以上前」が28.9%、「5年以内」が28.3%、「持っていない」は0.3%となっている。

【全体】

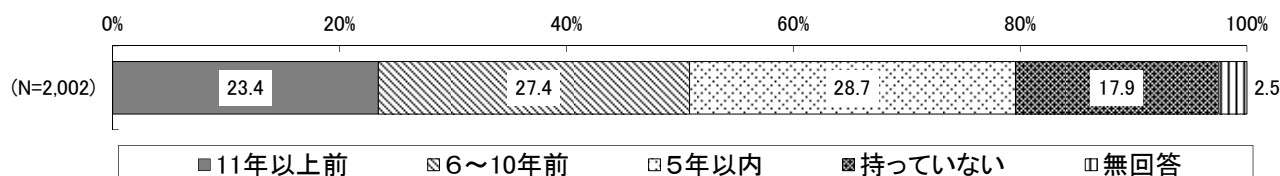


(7) エアコンの購入時期

◆ご家庭にあるエアコンの購入時期について教えてください。(複数ある場合は、日常最もよく使用するものについてお答えください)(質問3-10-7)

全体では、「5年以内」が28.7%、「6～10年前」が27.4%、「11年以上前」が23.4%、「持っていない」が17.9%となっている。

【全体】

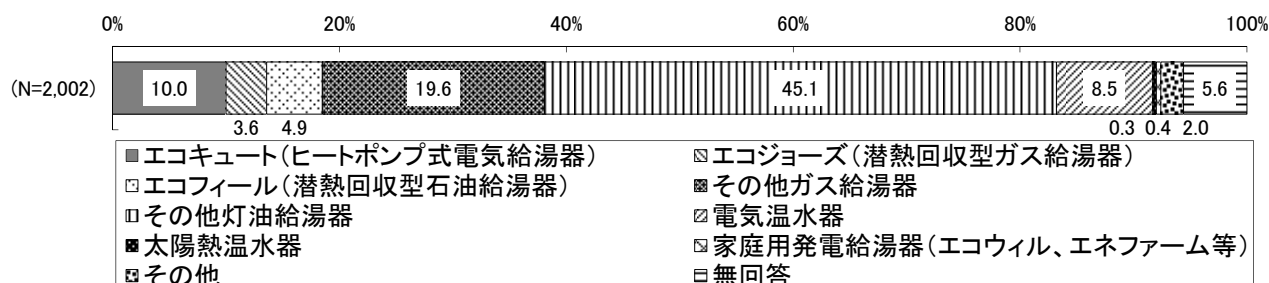


(8) 給湯器の種類

◆ご家庭にある給湯器の種類について教えてください。(複数ある場合は、一番大型のものについてお答えください)(質問3-10-8)

全体では、「その他灯油給湯器」が45.1%と最も多く、次いで「その他ガス給湯器」が19.6%となっている。「エコキュート」が10.0%、「エコジョーズ」が3.6%、「エコフィール」が4.9%、「電気温水器」は8.5%となっている。

【全体】

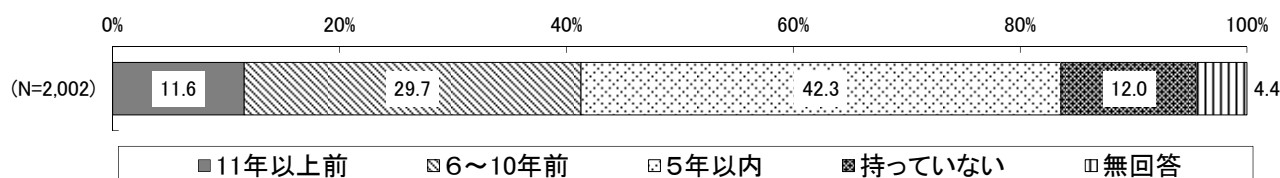


(9) マイカーの購入時期

◆マイカーの購入時期について教えてください。(複数ある場合は、日常最もよく使用するものについてお答えください)(質問3-10-9)

全体では、「5年以内」が42.3%で最も多く、次いで「6～10年前」が29.7%、「11年以上前」が11.6%、「持っていない」が12.0%となっている。

【全体】

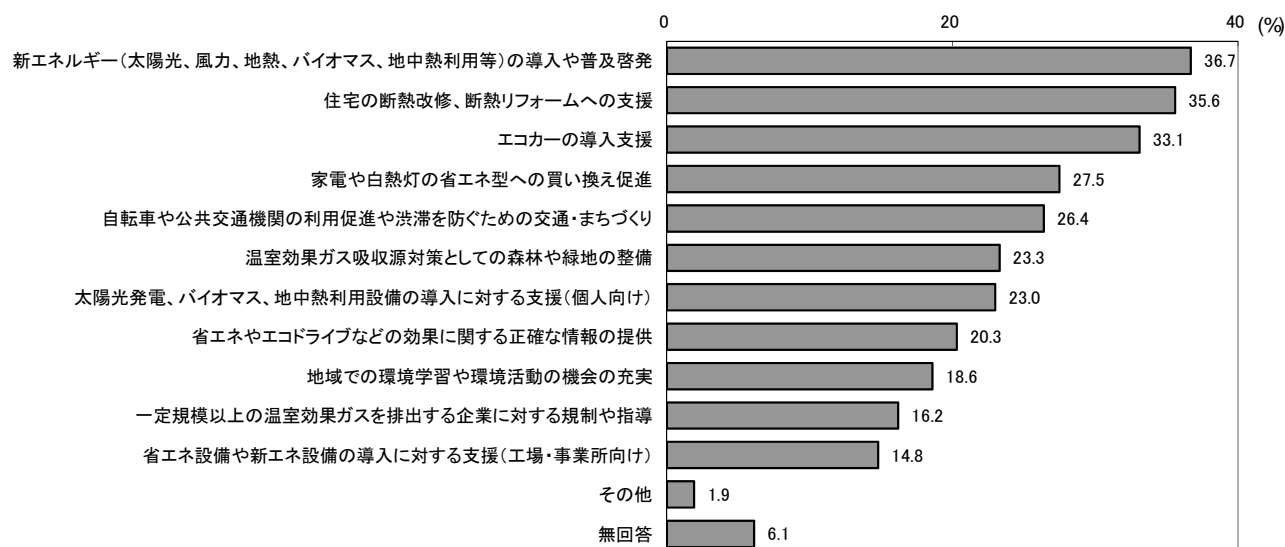


(10) 県の実施への期待

◆地球温暖化対策として、県にどのような取組を期待しますか。(4つまで選択可)(質問3-10-10)

全体では、「新エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス、地中熱利用等)の導入や普及啓発」の36.7%が最も高く、次いで「住宅の断熱改修、断熱リフォームへの支援」が35.6%、「エコカーの導入支援」が33.1%、「家電や白熱灯の省エネ型への買い換え促進」が27.5%、「自転車や公共交通機関の利用促進や渋滞を防ぐための交通・まちづくり」が26.4%と続いている。

【全体】



1.1 海岸漂着ごみ対策について

(1) 漂着ごみに対する問題認識の有無

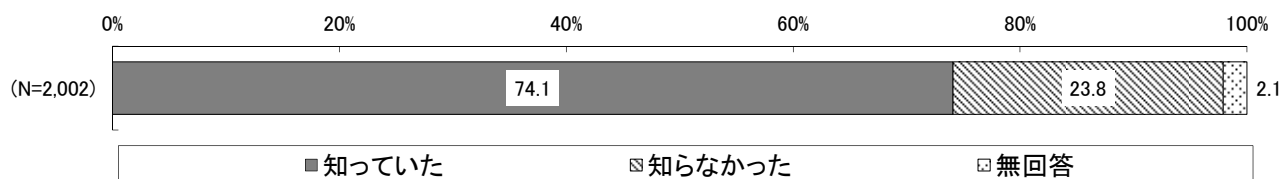
◆秋田県の海岸には毎年のようにごみが漂着し、海岸を汚すなどの問題が発生していますが、このことを知っていますか。(質問3-11-1)

全体では、「知っていた」が74.1%で、「知らなかった」が23.8%となっている。

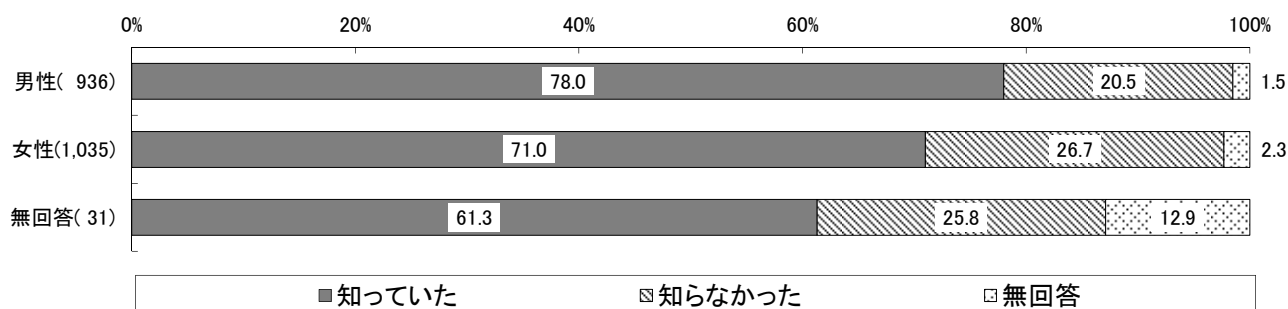
性別では、「知っていた」とする割合は男性の方がやや高くなっている。

年代別では、「知っていた」とする割合は50歳代で79.5%、60歳代で79.7%と他の年代に比べて高く、20歳代では61.0%と低くなっている。

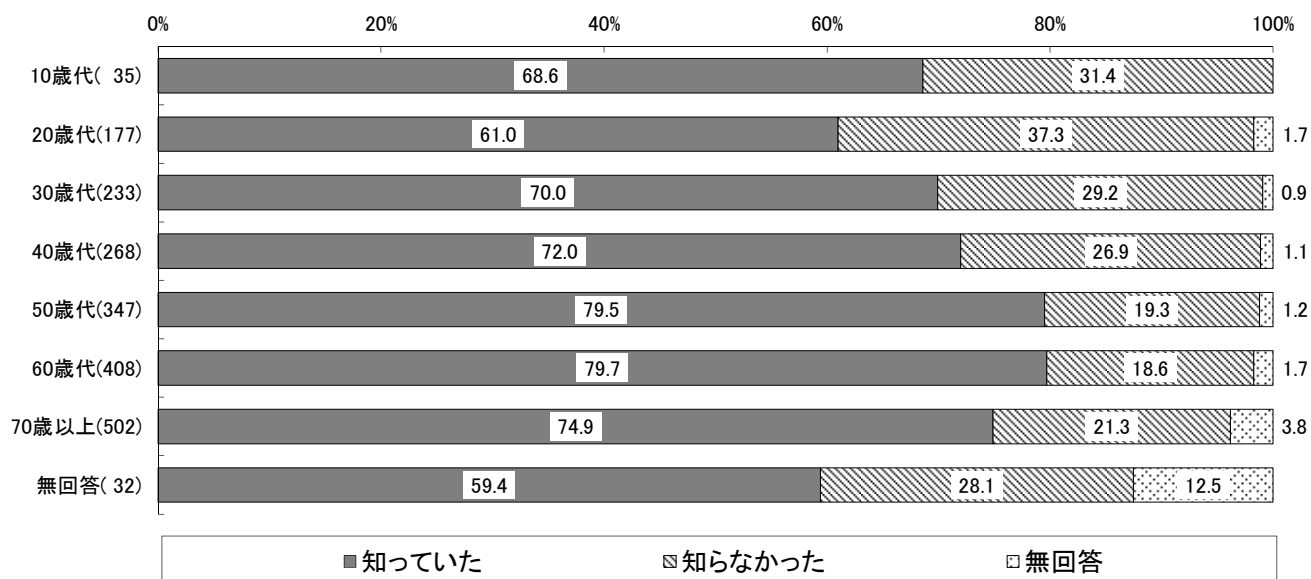
【全体】



【性別】



【年代別】



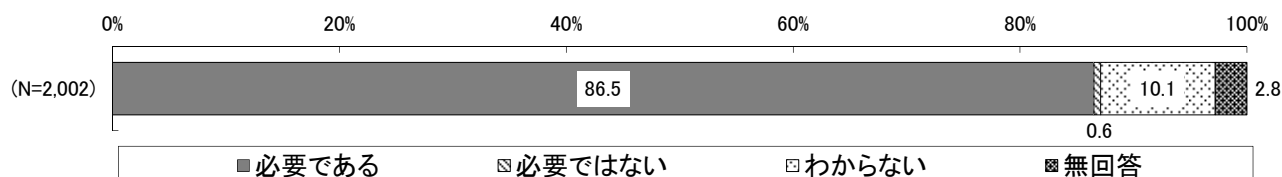
(2) 県の取組について

◆この問題に対処するため、県などでは海岸や河川での清掃や発生抑制に関するイベントを実施する取組を続けてきましたが、このことについてどのように考えますか。(質問3-11-2)

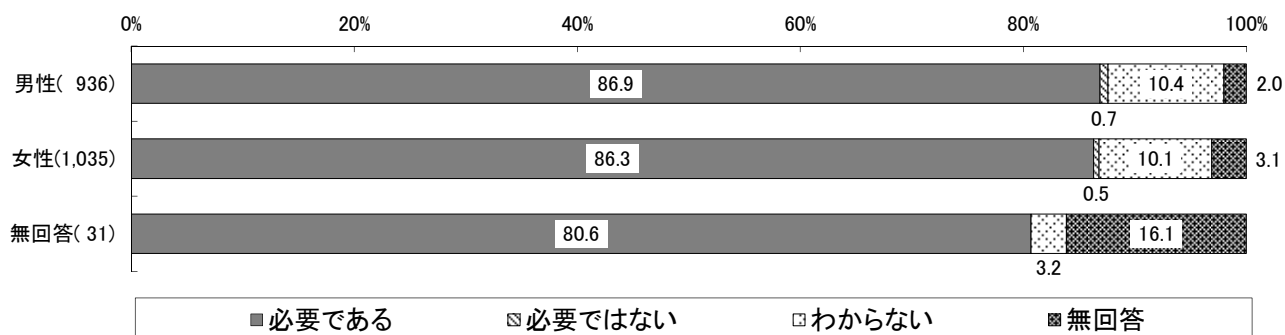
全体では、「必要である」の86.5%が最も高く、次いで「わからない」が10.1%、「必要ではない」は0.6%となっている。

性別、年代別で大きな違いは見られない。

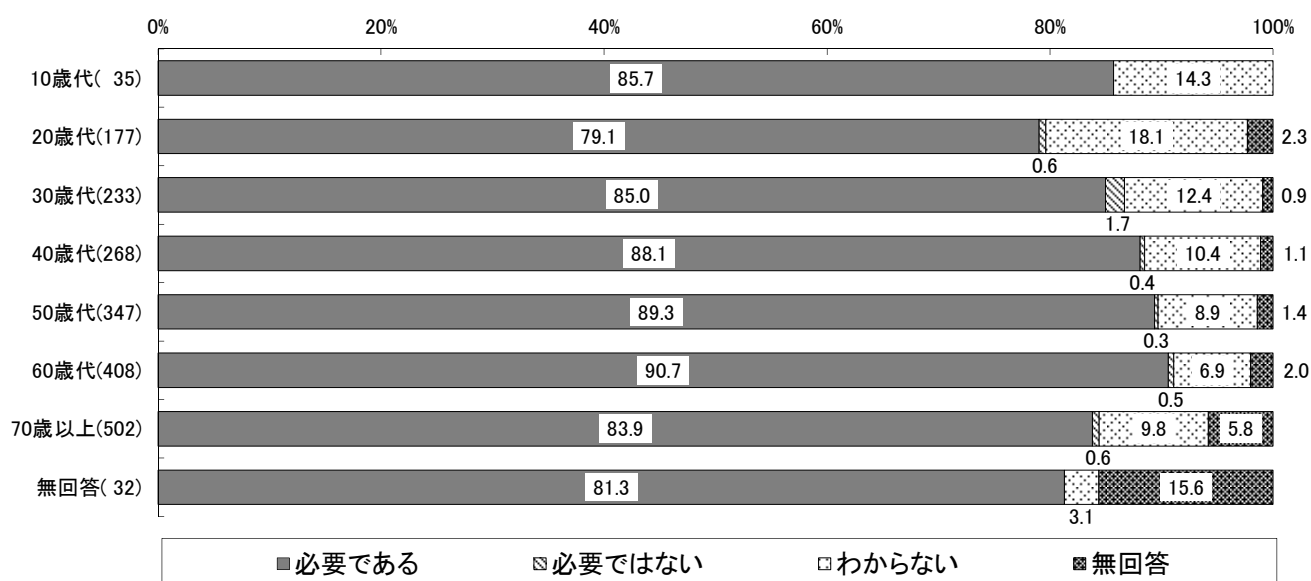
【全 体】



【性 別】



【年代別】



1.2 男女共同参画について

(1) 「男は仕事、女は家庭」の考え方

◆「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか。

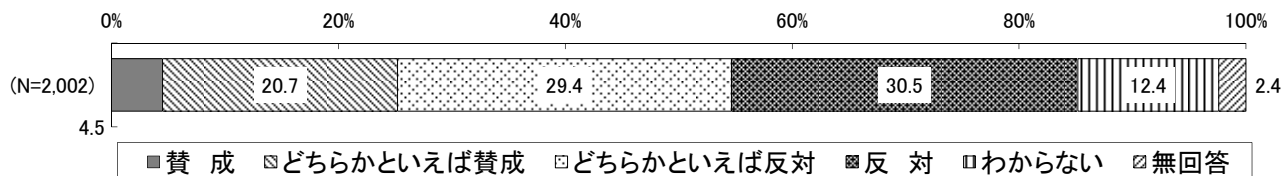
(質問3-12)

全体では、「反対」の30.5%、「どちらかといえば反対」の29.4%に対し、「賛成」が4.5%、「どちらかといえば賛成」が20.7%となっている。「わからない」は12.4%となっている。

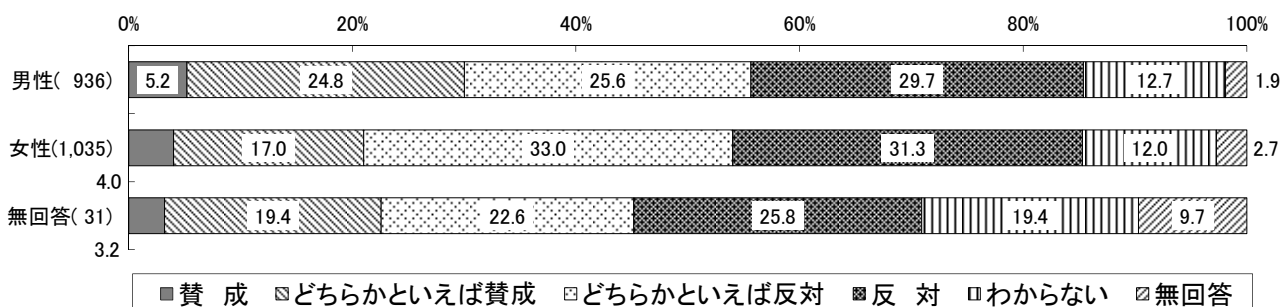
性別では、男性の方が「どちらかといえば賛成」の割合が高く、女性の方が「どちらかといえば反対」の割合が高くなっている。

年代別では、60歳代で「賛成」が5.1%、「どちらかといえば賛成」が21.6%、70歳以上で「賛成」が8.6%、「どちらかといえば賛成」が31.1%と、年代が高いほど賛成と思っている人の割合が高くなっている。また、30歳代では「賛成」、「どちらかといえば賛成」の割合が他の年代に比べ高くなっているが、「反対」も40.3%と最も高くなっている。

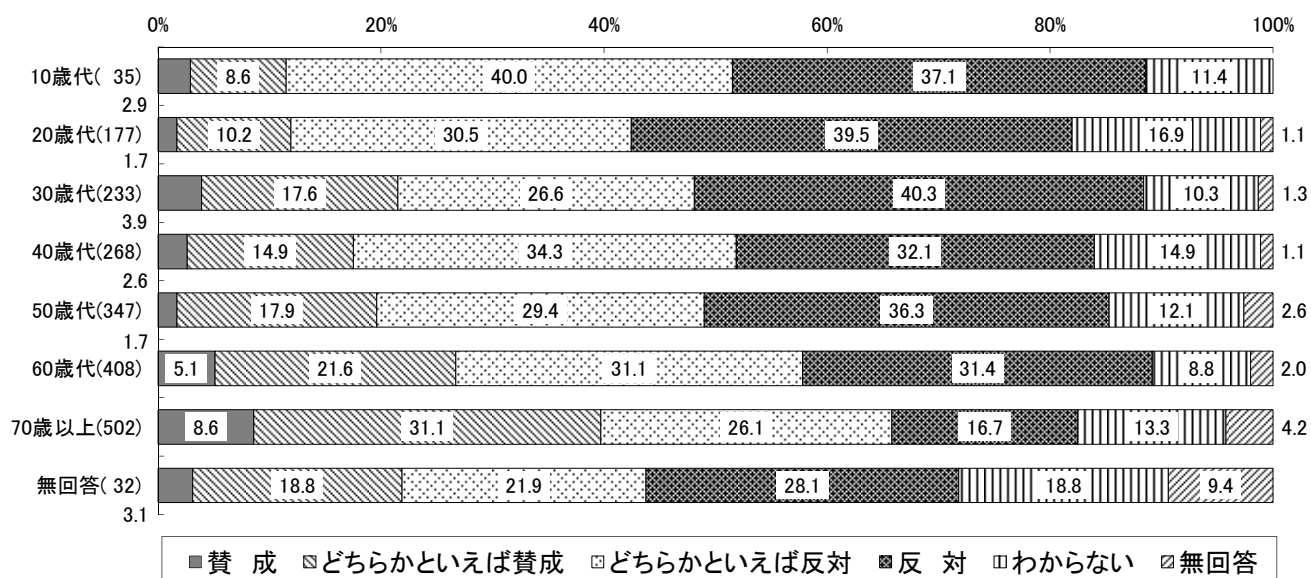
【全体】



【性別】



【年代別】



1.3 高齢者福祉サービスについて

(1) 高齢者福祉サービスの充実度の現状評価

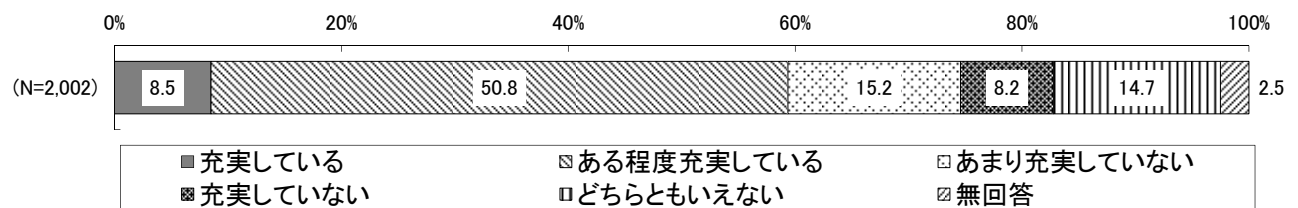
◆あなたの住む地域において、高齢者のための福祉サービス（在宅での介護サービスや老人ホームなどの施設の利用しやすさなど）が充実していると思いますか。（質問3-13）

全体では、「充実している」の8.5%、「ある程度充実している」の50.8%に対し、「充実していない」が8.2%、「あまり充実していない」が15.2%となっている。「どちらともいえない」は14.7%となっている。

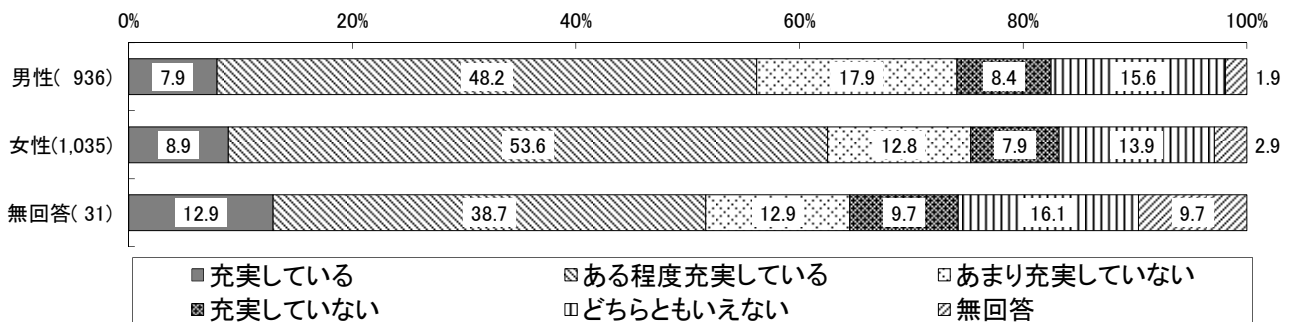
性別では、「充実している」、「ある程度充実している」と考える割合は、女性の方がやや高くなっている。

年代別では、「充実している」、「ある程度充実している」と考える割合は60歳代、70歳以上で他の年代に比べ高く、20歳代で低くなっている。

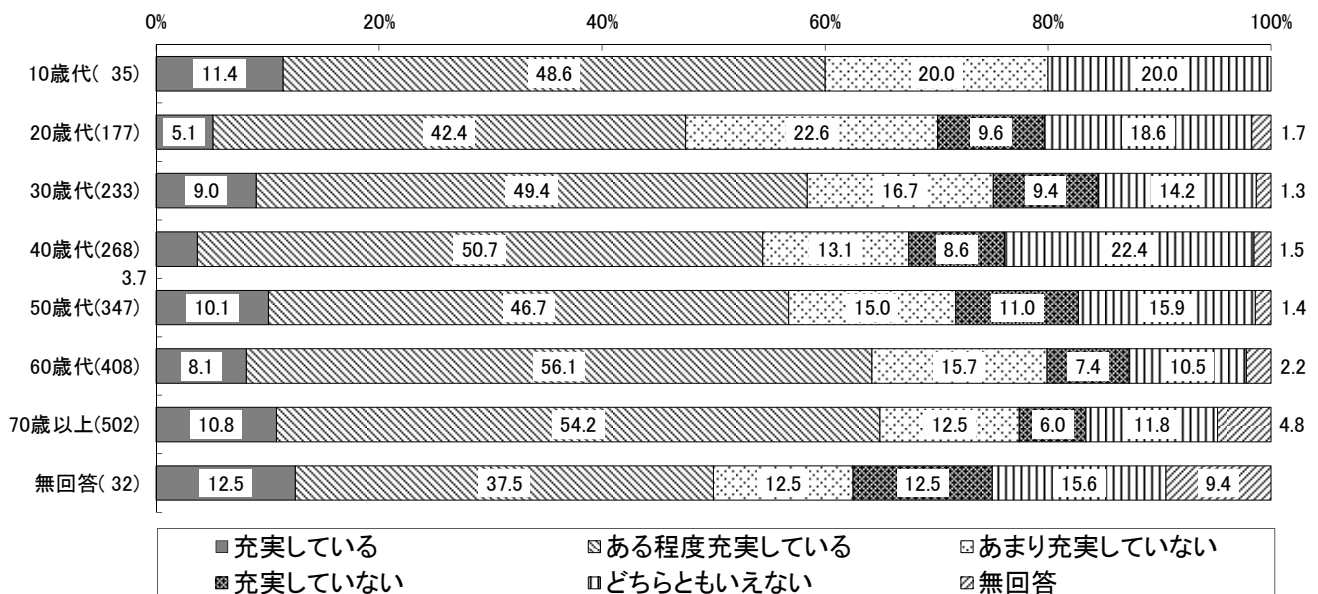
【全体】



【性別】



【年代別】



1.4 子育て環境づくりについて

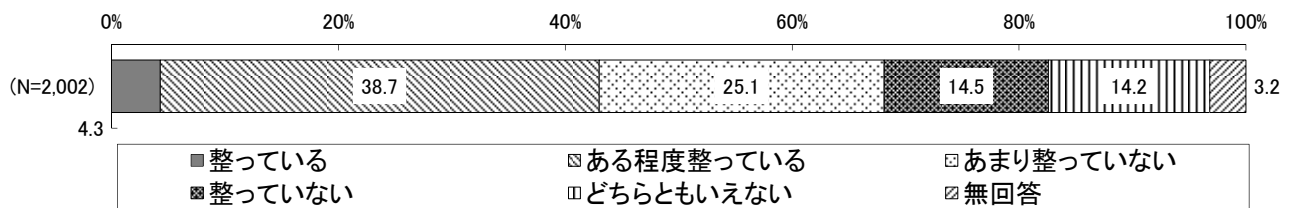
(1) 子どもを産み育てやすい環境の現状評価

◆あなたの家庭や地域、職場において、子どもを産み育てやすい環境が整っていると思いますか。

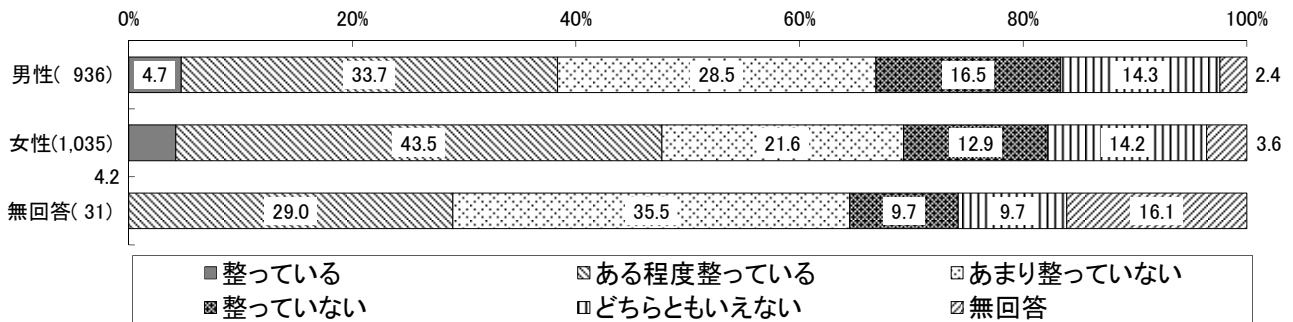
(質問3-14-1)

全体では、「整っている」の4.3%、「ある程度整っている」の38.7%に対し、「整っていない」が14.5%、「あまり整っていない」が25.1%となっている。「どちらともいえない」は14.2%となっている。
性別では、「整っている」と「ある程度整っている」を合わせた割合は、女性の方が高くなっている。
年代別では、「整っている」、「ある程度整っている」と認識している割合は、10歳代が他の年代に比べ最も高く、20歳代が最も低い。それ以降は、年代が高くなるほど評価が肯定的となる傾向にある。

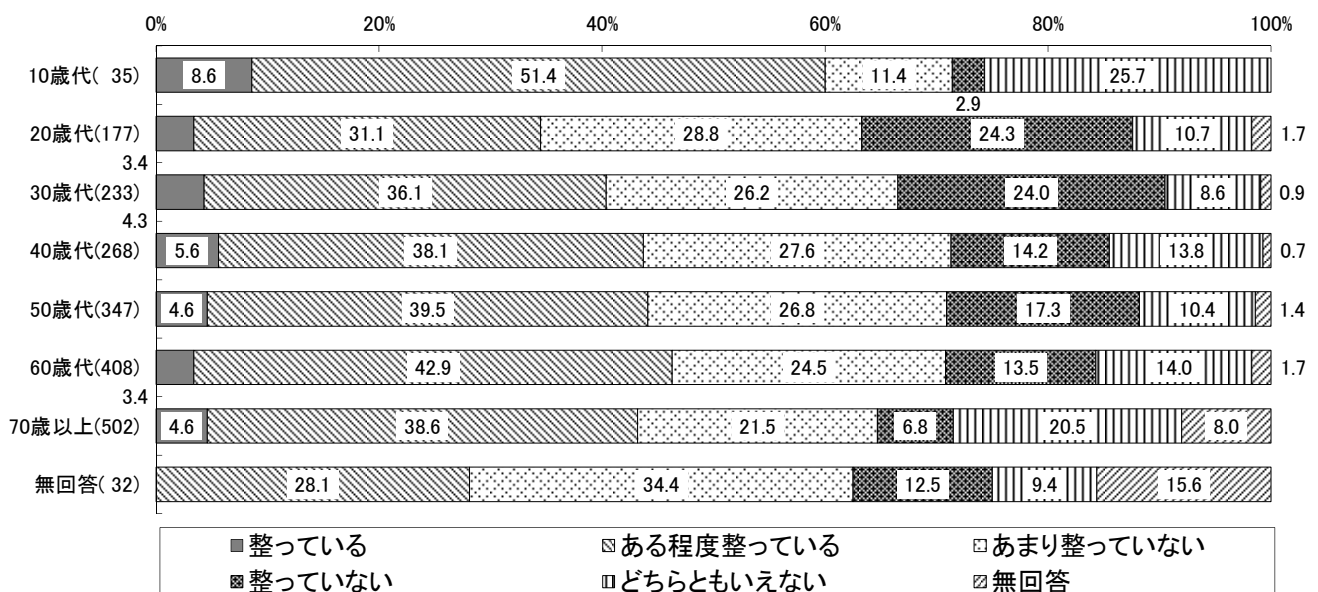
【全体】



【性別】



【年代別】



(2) 県の少子化対策への経済的支援について

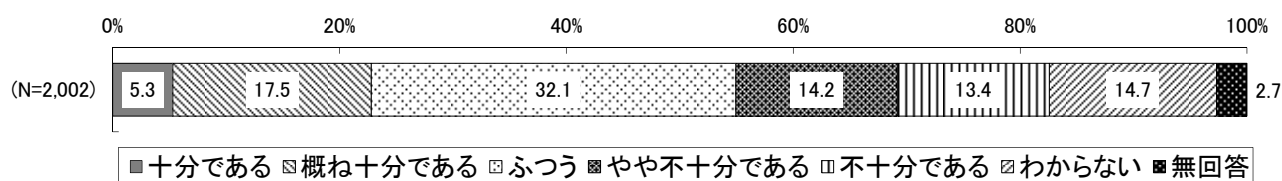
◆県では、少子化対策として、子育て家庭に対して、保育料や医療費の助成など様々な経済的支援を行っていますが、これについてどう思いますか。(3-14-2)

全体では、「十分である」が5.3%、「概ね十分である」が17.5%に対し、「不十分である」が13.4%、「やや不十分である」が14.2%となっている。「ふつう」は32.1%、「わからない」は14.7%となっている。

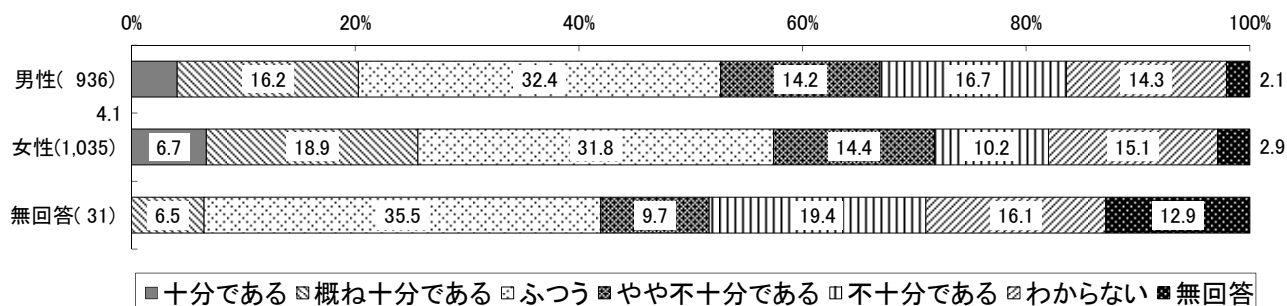
性別では、「十分である」、「概ね十分である」を合わせた割合は女性の方がやや高い。

年代別では、「十分である」が10歳代で8.6%と他の年代に比べ最も高く、60歳代が3.9%と最も低い。「概ね十分である」と合わせた割合は20歳代で特に低くなっている。また、「不十分である」、「やや不十分である」とする割合は20歳代、30歳代で他の年代と比べ高くなっている。

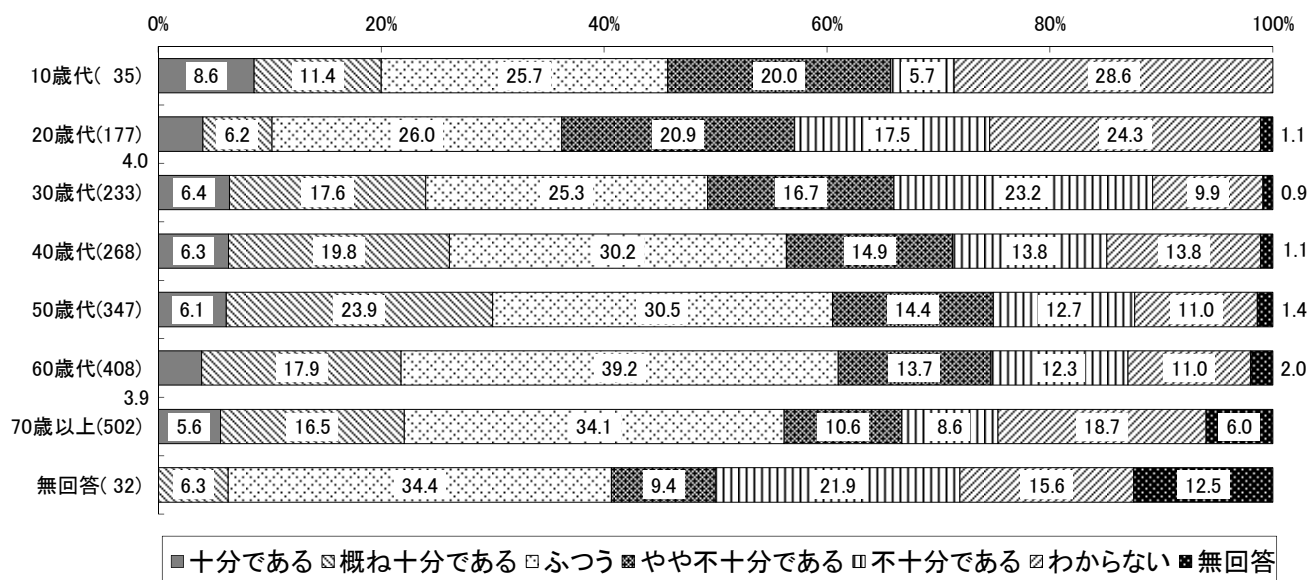
【全 体】



【性 別】



【年代別】



15 認知症について

(1) 認知症に関する認知度

◆あなたは認知症の症状や認知症の方への対応の仕方を知っていますか。(質問3-15-1)

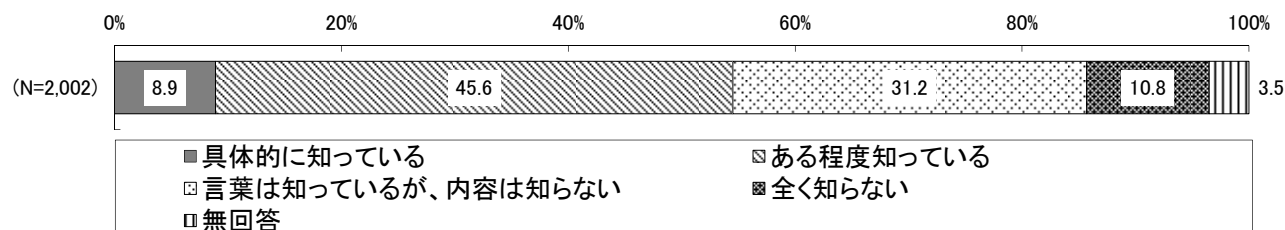
全体では、「具体的に知っている」が8.9%、「ある程度知っている」が45.6%に対し、「全く知らない」は10.8%、「言葉は知っているが、内容は知らない」が31.2%となっている。

性別では、「具体的に知っている」、「ある程度知っている」とする割合は女性の方が高くなっている。

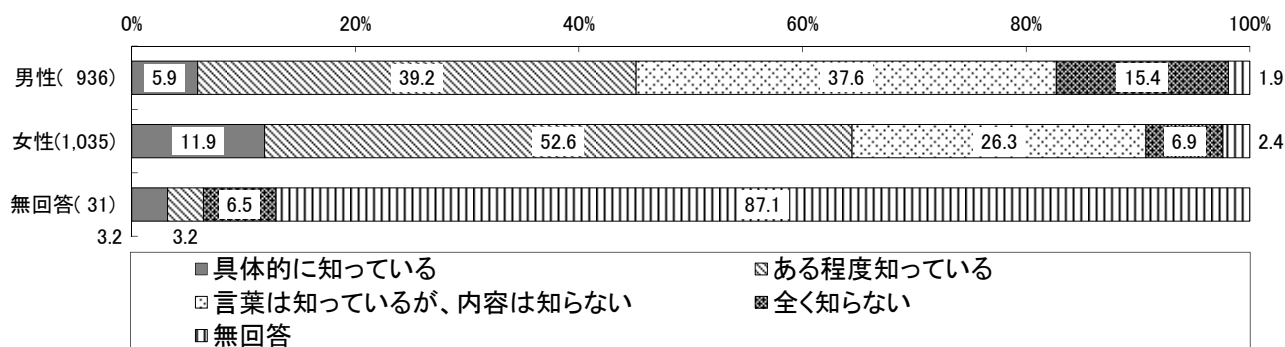
男性は「全く知らない」とする回答が15.4%と高くなっている。

年代別では、「全く知らない」は年代が低いほど高く、10歳代で22.9%と、他の年代に比べ最も高くなっている。また、「具体的に知っている」とする割合は20歳代が最も高く12.4%、「ある程度知っている」では60歳代が54.9%と最も高くなっている。

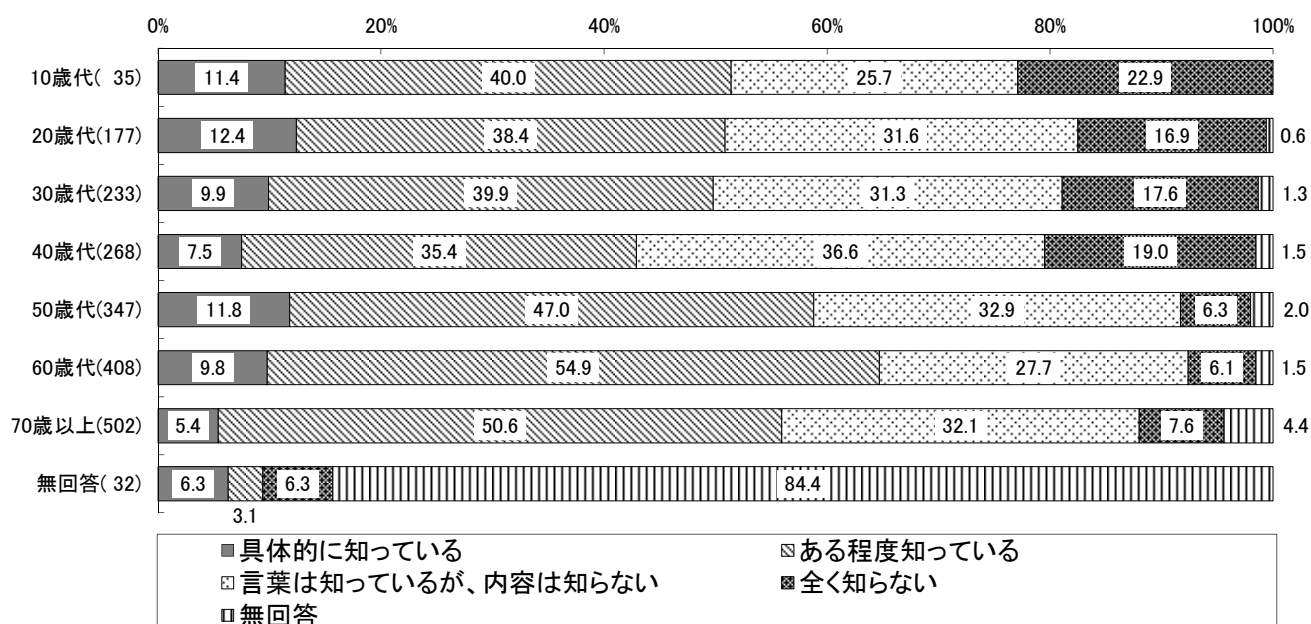
【全体】



【性別】



【年代別】



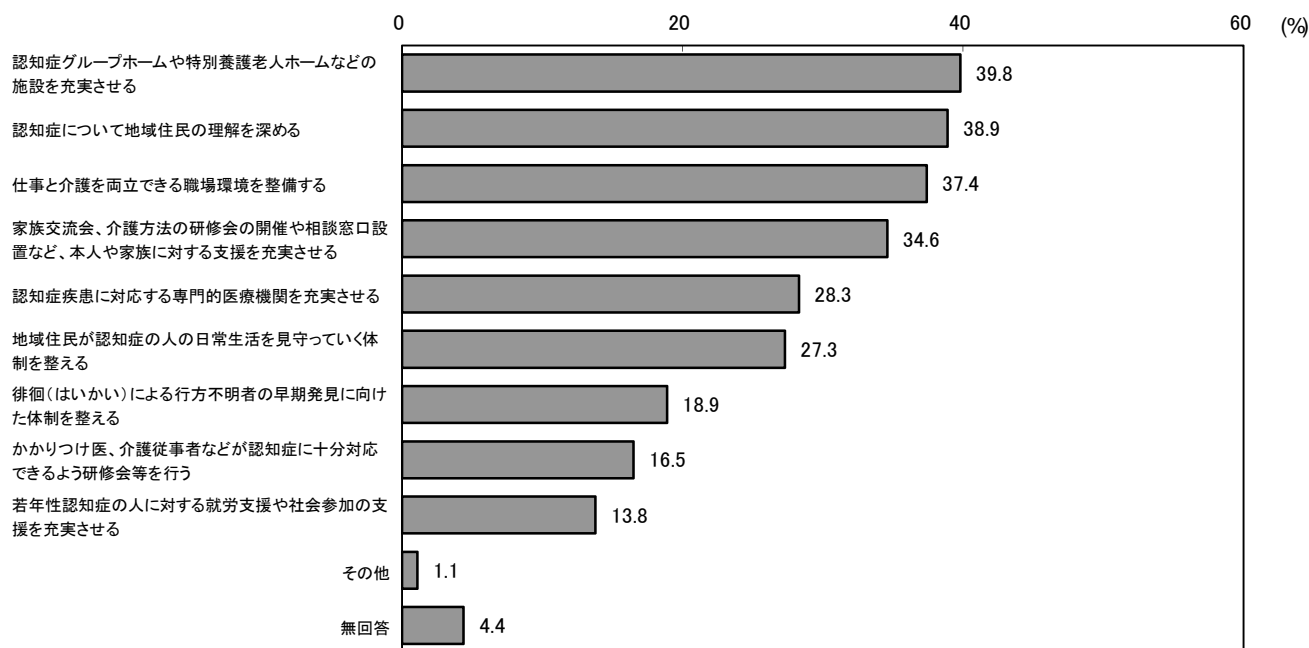
(2) 認知症施策の重点

◆今後、認知症に関する施策を進めていく上で、どのようなことに重点をおくべきだと思いますか。

(3つまで選択可) (質問3-15-2)

全体では、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設を充実させる」が39.8%で最も多く、「認知症について地域住民の理解を深める」が38.9%、「仕事と介護を両立できる職場環境を整備する」が37.4%と続いている。

【全体】



16 居住地の集約について

(1) 居住地の集約

◆人口減少、高齢化が進む中で、地域を維持・活性化するための方法として、居住地を各地域の中心部に集約するという考え方があります。あなたは、その考え方に賛成ですか、それとも反対ですか。

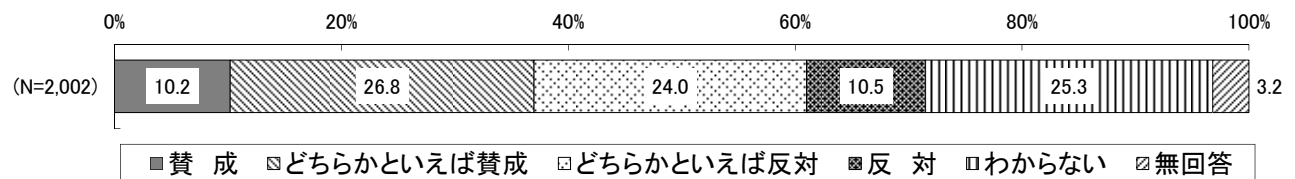
(質問3-16-1)

全体では、「賛成」が10.2%、「どちらかといえば賛成」が26.8%に対し、「反対」が10.5%、「どちらかといえば反対」が24.0%となっている。「わからない」は25.3%となっている。

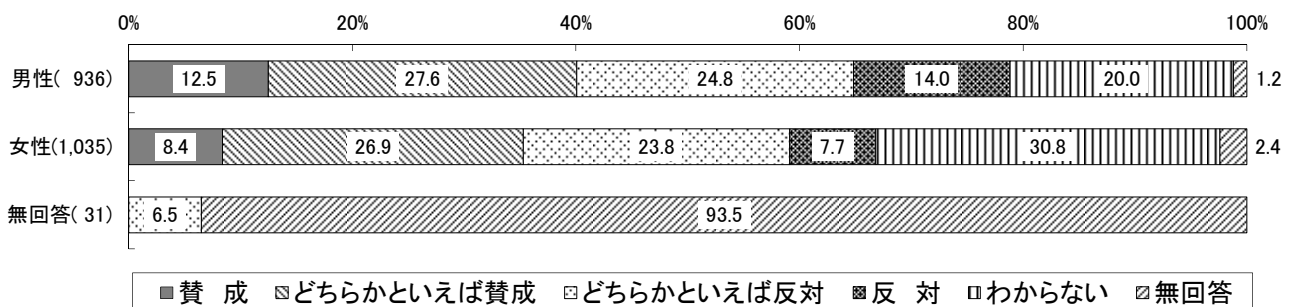
性別では、賛成と反対の比率は男女でほぼ変わらないが、男性の方が「賛成」「反対」とはっきり意見を表明する傾向にある。女性では「わからない」が30.8%と高くなっている。

年代別では、「賛成」の割合は年代が高くなるにつれ高くなっている。また、「反対」は10歳代が20.0%と他の年代に比べ最も高く、70歳以上が7.4%と最も低くなっている。

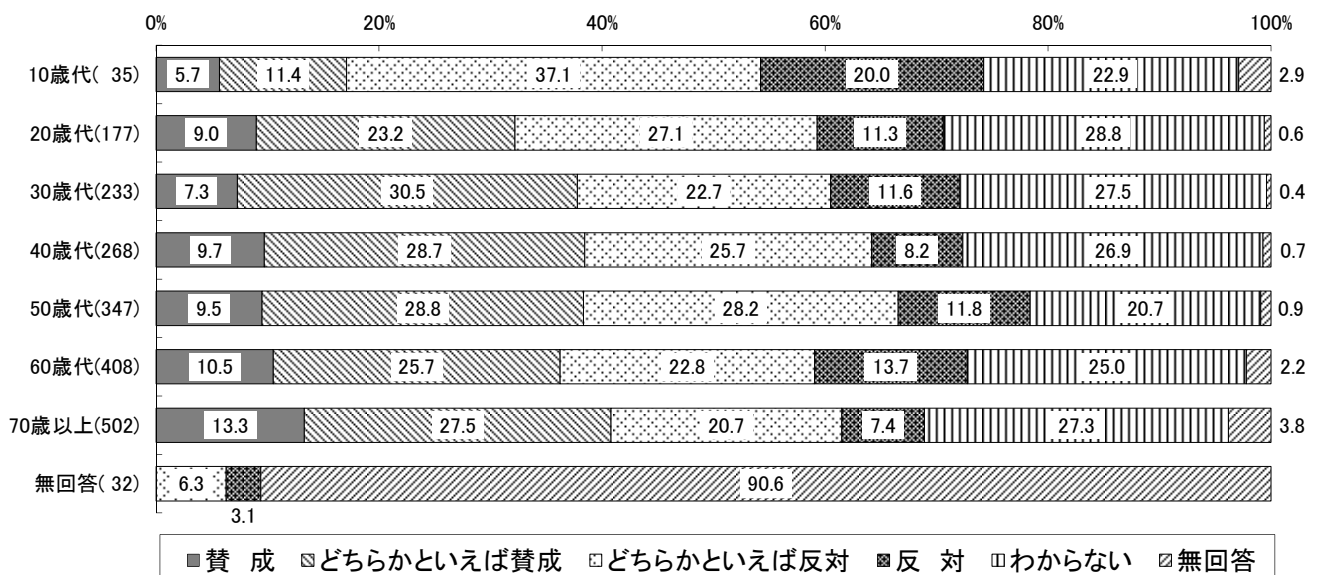
【全体】



【性別】



【年代別】



(2) 集約化に伴う住み替え

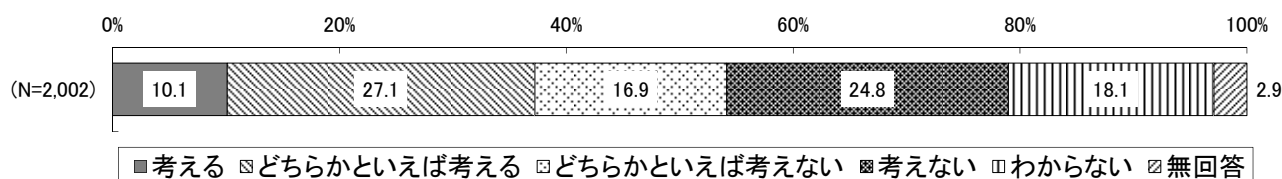
◆各地域の中心部への居住地の集約が進められた結果、自宅周辺に病院などの必要な施設や機能が不足した場合、あなたは各地域の中心部への住み替えを考えますか。(質問3-16-2)

全体では、「考える」が10.1%、「どちらかといえば考える」が27.1%に対し、「考えない」が24.8%、「どちらかといえば考えない」が16.9%となっている。「わからない」は18.1%となっている。

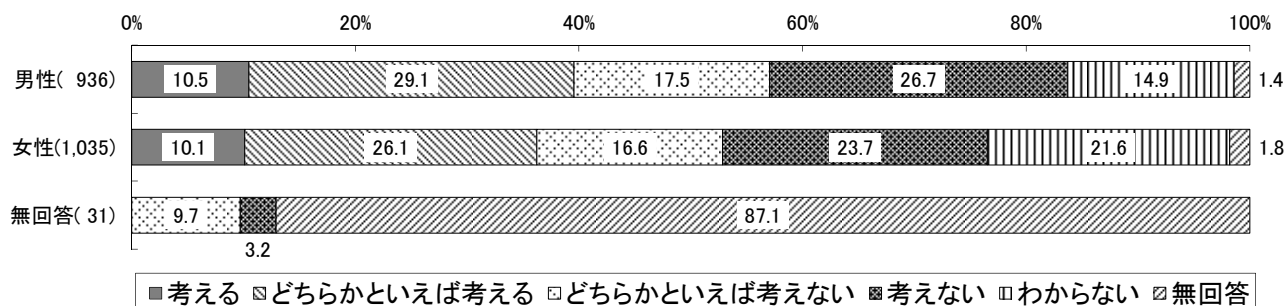
性別では、女性の方が「わからない」とする割合がやや高いが、全体に大きな違いは見られない。

年代別では、「考える」、「どちらかといえば考える」を合わせた割合は20歳代で他の年代に比べ最も高くなっている。「考えない」は60歳代で最も高くなっている。

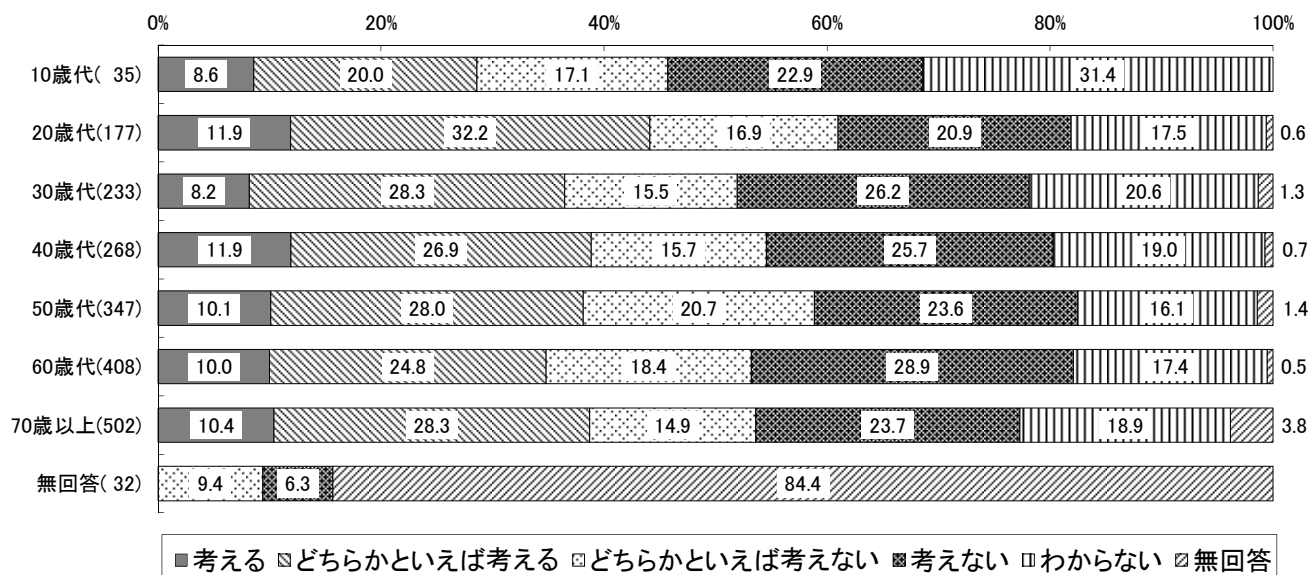
【全体】



【性別】



【年代別】



(3) 生活環境で重視するもの

◆あなたが住み替えを考える場合、生活環境として重視すると思うものを、次のうちから選んでください。
(複数選択可) (質問3-16-3)

全体では、最も多いのが「食料品・日用品等の買い物」の72.2%で、次いで「日常的な医療サービス」が53.6%、「通勤・通学等」の42.5%と続いている。「図書館、公民館等の公的施設」は11.0%、「自治体の公共サービス」は19.9%と他の項目と比べ少なくなっている。

【全体】

